SHIN SHIN FUJIN

The First Magazine of Woman's Movement in Japan.

新眞婦人

無痛分娩法……一記者
■詩　柳子
女性の本能……西川文子
■獨逸婦人思想の變遷■萬國婦人大會
妹むこへ……あぐり遺稿
■氣候と人間の行爲との關係
ソクラテスの妻ザンチップ……齋木仙醉
■四十年前佛國の敗因は皇后ユゼニーにあり　パシリー
海外婦人消息……中尾清太郎
■新眞婦人短歌
綠に晴き夜……山田きよ
■ハガキ通信　みなつくし
深山の瀧……すみ子
■海邊の一日　平澤福子
病餘隨感……玉露女
■コの字に答ふ　日向きむ
女子敎育家の告白……某女子敎育家

九月號　(第十七號)

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可 大正三年九月一日發行（毎月一回發行）大正三年八月二十八日印刷納本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察　月、水、木、金、午前
入院診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

電話（本）八八八（病院用）八九八（自宅用）

東洋内科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長　醫學士高田畊安

電話ちがさき二番

相州高座郡茅ヶ崎町海濱從停車場半里

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美人の同情！

美人の同情を一身に集めたる美顔料

ホーカー液！

初め東京から一番よく流行り！屡々宮内省より御買上の光栄を辱なうせり！色を白くし日焦を防ぎアセボ、ニキビを押へ、化粧崩れせず、キメを細かに、艶をよく剃刀まけを防ぎ、化粧下として等其他あらゆる方面より原料を研究し品質を選擇して常に他に抜でゝ**美容と衛生を完うし**次で本工場を増設し分工場を新設し最新の機械を置き凡てを大工業式に改め**價格の低廉を計り**茲に美容、衛生、經濟の三要件を具備せるホーカー液が貴夫人に令嬢に紳士に淑女に名優に名妓に、あらゆる人あらゆる階級にいつも、**安くて良い品と悦ばれ！**日々に新記録を作り！到處に新記録を作る！の快擧は全く美男！**美人**いつ迄も**の同情！**として深く／＼感謝するところ、向後一層御引立御愛用を願上候

本舗　東京馬喰町　堀越二八堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

九月號目次

口繪　無痛分娩法の發明者と其初産兒

婦人に必要なる知識　一記者…(二)

無痛分娩法――萬國婦人大會――獨逸婦人思想の變遷――其の進歩――東洋道德の西洋人を讀む――氣候と人間の行爲との關係――十八歳――罪を犯す婦人の男子より少なき理由――奇妙な盜人――英國の婦人選擧權運動とタイムス新聞の仲裁――葬式の市營

女性の本能　西川文子…(一一)

四十年前皇后ユゼニーにあり 佛國の敗因　ポールバシリー…(一四)

妹むこへ　あぐり遺稿…(一五)

ソクラテスの妻ザンチツプ　齋木仙醉…(一九)

ヘガキ通信　みなつくし…(二一)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海外婦人消息　中尾清太郎…(二三)
緑に暗き夜　山田きよ…(二六)
和歌　近藤なほ子　藤井夕子…(三六)
深山の瀧　すみ子…(三七)
海邊の一日　平澤福子…(四一)
病餘隨感　玉露女…(四二)
女子教育家の告白　某女子教育家…(四六)
コの字に答ふ　日向きむ…(四九)
旅順より　廣田兵吉…(四九)
第十六號を讀みて　野村生…(五〇)
編輯餘錄　文子…(五一)
新刊紹介
相談部其他

九月一日發行

新眞婦人諸姉の御稱賛に

ロンドン

土産

即席カレー

は實際！

重寶で手輕に出來ます、そして美味無類です　此故に新家庭には是非備ふべき最良の食料品たる事を本誌愛讀者各位にお報告します!!

カレーライス
カレーフエッシユ
カレーチキン
カレーウンドン
カレースープ
其他數種に應用

十五人前　金參拾錢
廿五人前　金四拾錢

販賣店は到る處洋食料品店
酒店乾物店肉屋等

お料理の栞無代進呈

東京久松町

岡本商店食品部

電話浪花二九四一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月刊大雜誌

世界之日本

定價一冊金拾五錢
郵税金壹錢五厘

九月號

半年郵税共八十五錢
一年郵税共一圓六十錢

●全世界の大亂に處する日東帝國の使命を論ず……社説

●露國皇帝論……坂本正雄
●獨逸宰相ベトマン　平野英一郎
●佛國大統領論……五來素川
●英國首相アスキス　島田三郎
●獨逸皇帝論　海軍大臣 八代六郎

●歐洲大亂の裏面……戸水寛人
●時局局外觀……長瀬鳳輔
●世界的大演舞臺の人　戸谷白羽

現代歐洲政治家號

世界的國民は必一讀せよ
定價税共十六錢五厘

●墺國皇帝論……永井柳太郎
●佛國政治家デルカッセ　福本日南
●非戰論者バーンス　安部磯雄
●英邁なるカイゼル　小山谷藏
●佛國前首相ブリアン　田中萃一郎
●英國外相グレー論　淺田江村

●炎熱の工場……長梧大河
●奮闘余錄……梧木徹馬等
●現代一百人……坂本蓬萊
●日誌のうちより……日向きむ
●時事評論●社會日誌……
●百事問答●文藝詩歌……

戰亂及人物、寫眞豐富

●國歩艱難の秋に際して我國防の眞諦を論ず……前海軍主計大監 片桐酉次郎

發行所 東京神田猿樂町十七仲 世界之日本社 電話本局五二一四 振替東京二六八六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市麹町區內幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座 東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

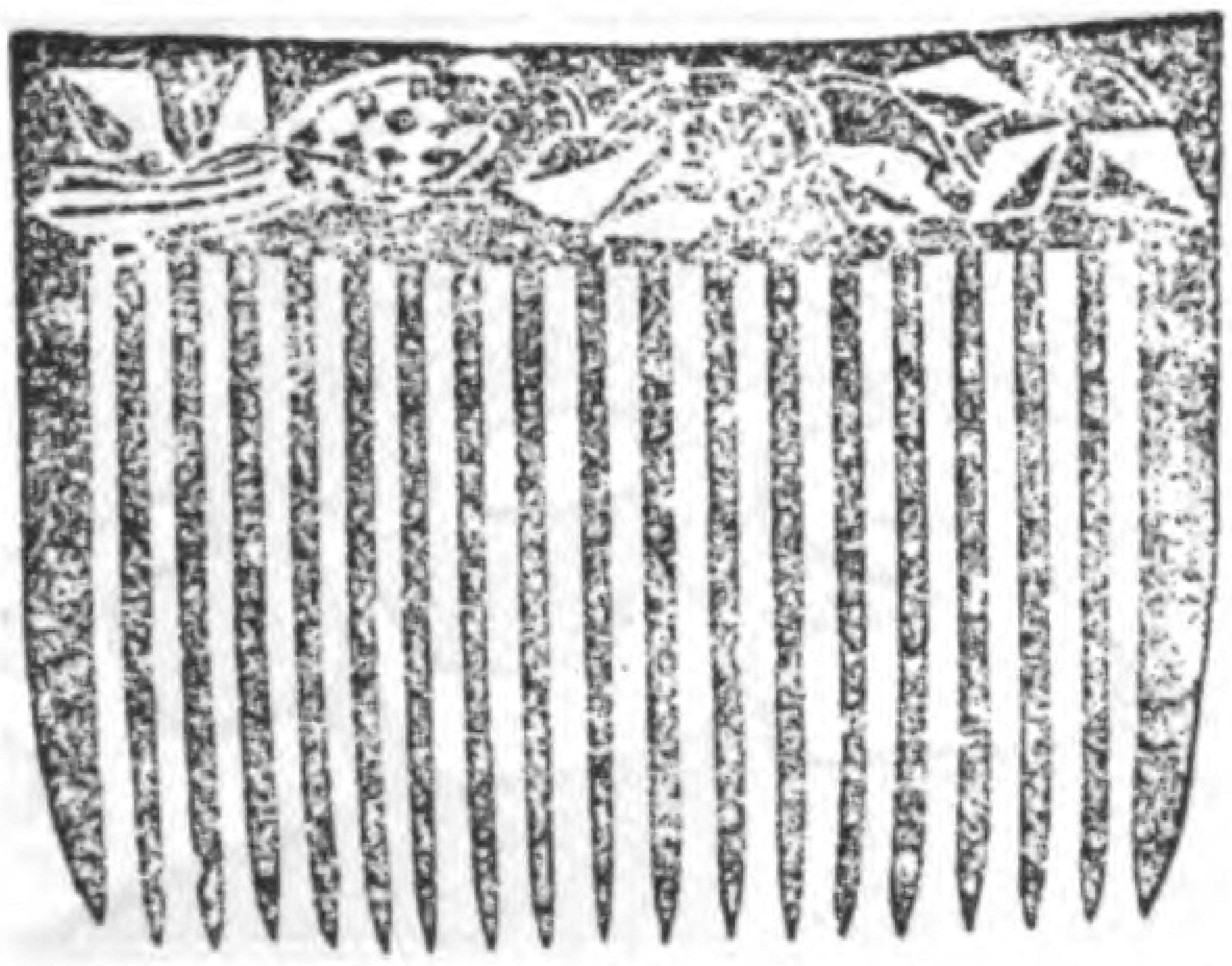
社長 中村靜嘉
專務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 內野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫

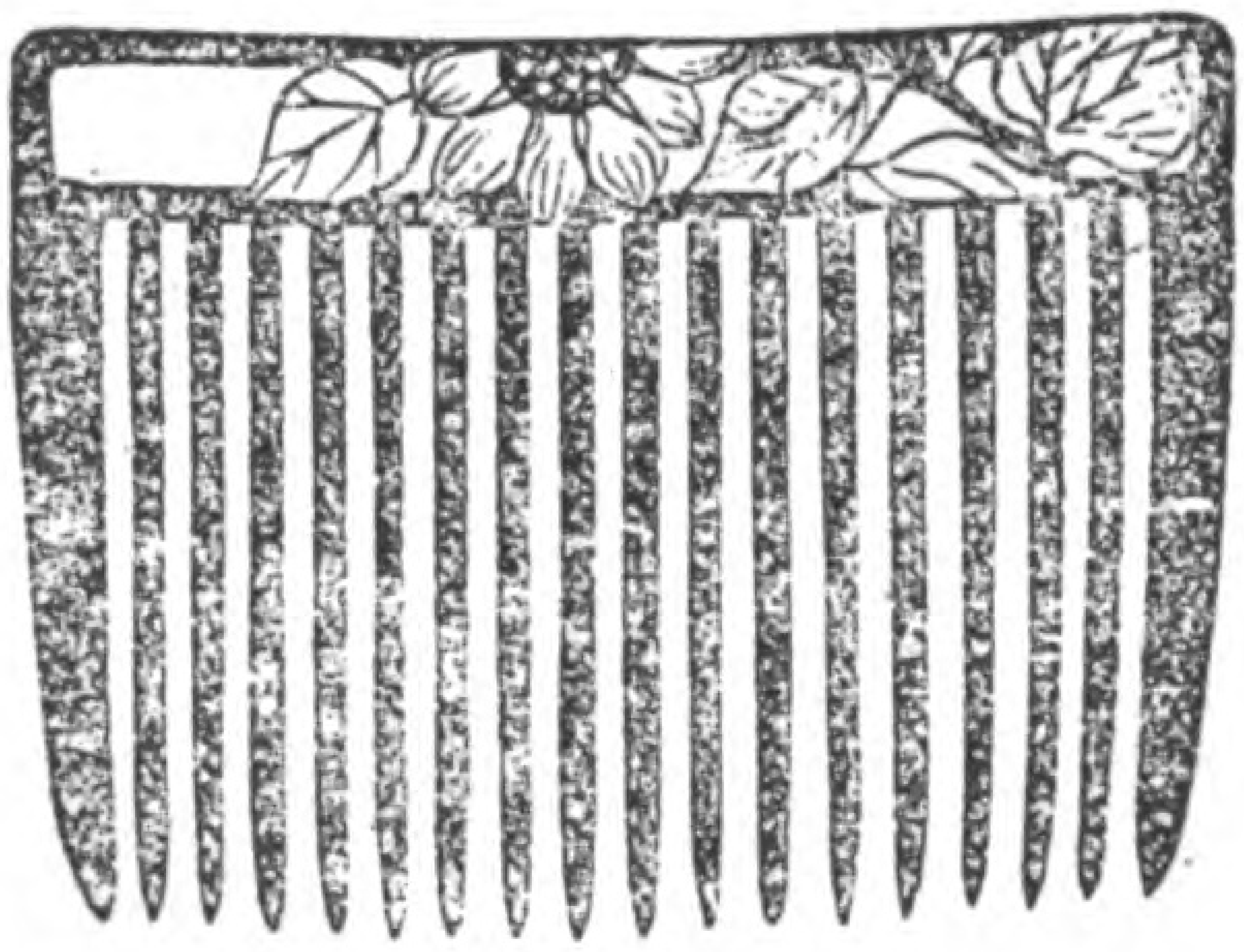
取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監査役 潮田方藏
監査役 左右田信二郎
監査役 中田敬義

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新様式束髪櫛





仲秋の月を待つ季節に望めば、婦人装身具界の傾向、轉化する時に御座候、當銀座尾張町白牡丹本店に於ては、左記名譽の大賞を得て、なほ一層精勵、新案新調の品々多く、特製致候中にも、

於大正博覧會 **金牌受領**

上掲の新様式束髪櫛は、欧羅巴のモザイックに則り、之に日本式圖案の調和に努め、金銀青貝塗込應用にて更に七寶を交へ、一見清涼鮮明の品當季の御挿料として、好評嘖々、價は黒鼈甲製にて十五六圓、セルロイト製にて二圓以上、此際御用命御高需のほど奉希上候。

東京尾張町 白牡丹本店

電話新橋五四五番・五五五番・振替口座四三九七番

無痛分娩法の發明者
クローニグ博士

クローニグ博士を助けて無痛
分娩法を發明せしガウス博士

無痛分娩法にて生れし最初の米國兒童

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

現代的漢和對譯の新法華經出づ

東洋大學教授
宗教大學教授
島地大等師虔修

▲内容見本贈呈

漢和對照 妙法蓮華經

新刊發賣

（並製）天金クロス製 定價壹圓五十錢
（特製）三方金總皮製 定價壹圓九十錢
小包料各八錢

法華經は聖德皇太子親しく之を講註して立教開範の基を拓き給ひしより、我が國民性を開發啓沃し來れる一大聖典にして、宗教、道德、文學、藝術等有らゆる方面に多大なる影響を與へたるは、今喋々を要せざる所、本書は斯道の名匠島地大等師が苦心の結果に成り、本聖典の漢譯、和譯を上下二欄に別掲して互に對照に便ならしめ、共に正確なる振假名を施し、殊に和譯は聖典の尊嚴を損せざらしめんことを欲し、專ら古來の相傳に憑れりと雖も、而も新に段落を設けて語句を巧妙に配列し、且つ科文を本文の傍に分註する等の新意匠を凝せるのみならず、附錄として、師が獨特の筆に成れる本聖典の大要梗概たる法華大意、法華略科、並に聖典中に現はるゝ難解の字句に簡明なる解釋を施せる法華字解を添へ、以て如何なる階級程度の人にも容易に之を讀誦し領得し得らるゝやう努めたり。時恰も闇諒期正に新秋、一般僧侶信徒は勿論、苟も燈下に親まんとするもの、精神修養を計らんとするものは、必ず本書を机上に備へて、佛陀矜哀の垂訓に心耳を傾けずんばあるべからず、敢て一本を薦む。

東京神田錦町一丁目十番地
株式會社 明治書院
振替東京四九九一番
電話本局二四三八番

資本金　五百萬圓

丁酉（ていいう）銀行

本店　京橋區宗十郎町
支店　日本橋區呉服町
同　深川區富吉町

一　定期預金　六ヶ月以上　年六分五厘

一　當座預金　百圓ニ付　日歩九厘

一　特別當座預金　同　日歩壹錢貳厘

東京市日本橋區坂本町七番地

合資會社　田中銀行

電話浪花　壹九九番　貳四〇番

日本基督教徒名鑑

イヨ〳〵出來

内容
各府縣別、各教會別、各團體各學校別の重なる職員及信徒の姓名を列記し頭上には教會における地位脚下には社會的職業と住所を附記し別に東京市には各職業案内を加へ最後にいろは別の索引を附せる頗る便利のものなり

外質
表紙は高尚優美なるクロース製金文字入用紙はピー、エス、四六版六十斤紙數千頁餘なり

特價
定價金貳圓五十錢を來る十一月廿日迄の御申込者に限り特別價格金貳圓にて提供す
但本月下旬より申込順によりて發送す
郵税内地金十六錢、滿鮮金四十錢

賣捌所
東京京橋區尾張町　警醒社
東京銀座　教文館

發行所
東京市麴町區有樂町一ノ三
中外興信所
電話新橋一八五四番

調査及仲介
失敗は先づ調査の疎漏より始まり候間會社、銀行、團體、商店、個人殊に結婚の調査を御引受申候
又土地、家屋、礦山、商品等の賣買委託より建築設計等の仲介も致候

中外興信所

（規則書入用者郵券二錢送らるべし）

醫學博士 北里柴三郎閱
醫學博士 柴山五郎作著

增訂

最近之肺結核療法

第十四版

紙數二百餘頁●正價金壹圓貳拾錢●密封郵稅八錢

肺結核は容易ならざる疾患なり然れ共初期に於て正當なる療法を加ふれば全く治癒す本書は此の正當なる療法を述べたるものにして特に第十四版に於ては『ツベルクリン』療法の勃興に伴ひ實地使用者の便に供せんが爲めに最も實地的懇切に書き改めたり醫家は本書により患者に示すべき方針を知り患者は本書に依て醫家命令の理由を會得し二者相俟つて治癒の彼岸に達するを得ん

內容目次

○衛生食餌療法○營養療法○食欲不振○牛乳療法○營養製品○肉類及蛋白質製品○脂肪製品○飽食療法○乳清及葡萄療法○空氣○療法○強練法○運動及橫臥法○日光浴及空氣浴○呼吸操法○精神の療使用○患者の日課○室內衛生○轉地療法○氣候療法○海濱療養所○航海○內地療養所○高山療養所○療養所の條件○醫の監督及病院療法○療養の時日○肺勞の衛生食餌的療法○衛生食餌的結核法の學說に對する試驗的追加○結核療法に於ける氣候及海上旅行○藥劑療法○特異療法○ツベルクリン數件○結核血清療法○理學的療法○外科的療法○對症療法○熱○盜汗○咳嗽及咯痰○咯血及血痰○疼痛○呼吸困難○心臟衰弱○不眠症○消化障害○貧血○喉頭疾患○諸他の注意○比較的治癒に於ける注意

○肺結核豫防療法

醫學士 竹中成憲

價六十錢 郵稅六錢

○社會教育 肺結核通俗療養法

醫學博士 北里柴山博士

六十五錢 郵稅四錢

發行所 東京神田鍛冶町 振替口座四七七二番 誠之堂書店

杏雲堂病院
樂山堂病院
育兒會病院
田端腦病院
帝國大學醫科大學病院
橋爪病院
駿河臺病院
土田病院
小林眼科病院
小林耳鼻科病院
木下病院
中原病院

○樂牛園 牛乳販賣部

○牛乳は樂牛園に限る

○市內ハ遠近ニ拘ラズ迅速ニ配達仕候

產婆看護婦派出
產婆看護生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

東京衛生園產婆看護婦部

電話芝八百六十四番

部長 產婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

產婆部 大崎支局

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生田長江、森田草平兩氏主宰

文學政治雜誌

反響 九月號

定價一冊 金二十錢 郵税一錢

半年分郵税共 一圓二十錢
一ケ年分郵税共 二圓四十錢

■時事評論　馬場孤蝶
■豫想されたる平民黨の意義（松本彦次郎氏に答ふ）　岩野泡鳴
■讀むがまゝ　小澤愛圀
■評論　平塚明子
■創作　與謝野晶子
■杯（アンリ、ドレニエー）　後藤末雄
■詩　高村光太郎

■詩　與謝野寛
■評論　大杉榮
■挿話（小説）　野上臼川
■評論　伊藤野枝
■筋斗（詩）　長尾素枝
■戰爭の影響（評論）　生田長江
■新刊所感　安藤現慶
■創作　森田草平
■野外劇場（評論）　島村民藏

反響社發行 發賣所 植竹書院 神田區佐久間町四ノ廿三 振替東京一二九五三

鈴木三重吉氏著

縮刷

珊瑚樹

三重吉傑作選集

内容

■櫛
■女
■穴

■おみつさん
■一枚の瓦
■赤い鳥

■小猫
■黒血
■桐の雨

集むる處既往に出版したる十數冊の小説集の中より著者自ら精をぬき粋を選りたるもの。讀者は本書によりて時間と勞力と金とに於て頗る經濟的に三重吉先生の精髓を窺ふ事を得べし。

津田青楓氏裝幀
煤煙同形美本四百餘頁
全六號活字 一頁七百卅餘字詰

定價 九十五錢 郵税八錢

産科婦人科小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麴町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

わきが ジベルジ散

凡そ世に『ワキガ』を患ふる者程人に忌せられ又人に對し氣のひける難病はあらざるべし如何に資産あるとも又如何に容姿の艶麗なる美人好男子にして身には錦繡の衣裳を纏るとも交際場裡に立つ事能はず又折角己が理想とせる又と得難き良縁も『ワキガ』の爲めに妨げられ幸福なる家庭を作る能はずして一生涯不愉快なる月日を送るもの世に少なからず嗚呼世に『ワキガ』を患ふる男女の心中果して如何あらん弊堂今回同病患者に同情の結果斯道の大家を以て聞えたる全生醫院長賀來寛一郎先生が數十年來此病患者に實地御試驗の結果效能卓絕なるを證明せられたる處方を同先生示導の下に調劑擴く發賣する事となせり直接同先生に診療を受くること能はざる人士又は遠隔の地に住居せらる、患者諸子は速かに本劑「わきがジベルジ散」を用ひて不幸なる難病を除き天與の幸福を全ふせられん事を希ふ

ジベルジ散

小器壹圓 中器貳圓
大器參圓 特製五圓
送料各八錢
切手代用一割增

東京麻布霞町電車停留場際

製造販賣元 信美堂藥房

（電話芝三六九八）振替東京一九五〇八番

産科婦人科
小兒科
（宅診午前
往診午後）

女醫 井出茂代

内藤新宿番衆町三一
電話番町三六七七番

リウマチス

▼全治

御惱の方はハガキにて御症状を記し御申越あれば十數年不治とおあきらめなされたリウマチも實に驚く程よくナオル神秘靈劑……弊店家傳の秘藥を御知らせ致します御全快の皆様から日々澤山の感謝状を下されます

東京市淺草觀音仲見世 天勇横町
井筒屋油店
電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科
泌尿器科
生殖器科
婦人科

梅毒科
腎、膀胱、尿道、睪丸、攝護腺ノ疾患
男女生殖器機能障害

診察時間
午前八時ヨリ十二時
午後四時ヨリ七時

日本橋區通二丁目白木屋出口前

ドクトル メヂチーネ
中島鎌太郎

電話本局三九八〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雄辯

第五巻第九號
九月號

定價一冊貳十八錢
郵税金貳錢五厘
十二冊前金参圓拾貳錢

●近時の政局と犬養木堂……南木摩天樓
●思ひ浮ぶまゝの人々……鵜崎鷺城
●忘れ得ぬ男の姿……松崎天民
●迷へる林毅陸氏……冬湖學人
●海國發展の史的教訓……箕作博士
●根本法律……江木博士
●岡田満……望月紫峰
●喫烟室より……黒頭巾
●思ひのまゝ……中村孝也
●天狗の寄合……笹川臨風
●一萬石の命……稲岡奴之助
●ロシアから……戸田均
●米國の雄辯熱……高杉瀧藏
●歐米の大雄辯家……大原武夫
●ト腹物語……岡野惟一
●枯葉(諷辯)……馬場睦夫
●最近の政局……上野蒞平
●雲嶺に與ふ……太茂樹
●古今逸話珍聞
●解頤笑話
●人物短評
現代名士二十有餘名執筆
●縦論横議
●演説會記事
●土方通德議……大井法學士
●夏帽子(和歌)……吉植庄亮
●山本伯の末路……望湖澤
●各學校辯議會月旦
●懸賞募集數種
●學生界逸話

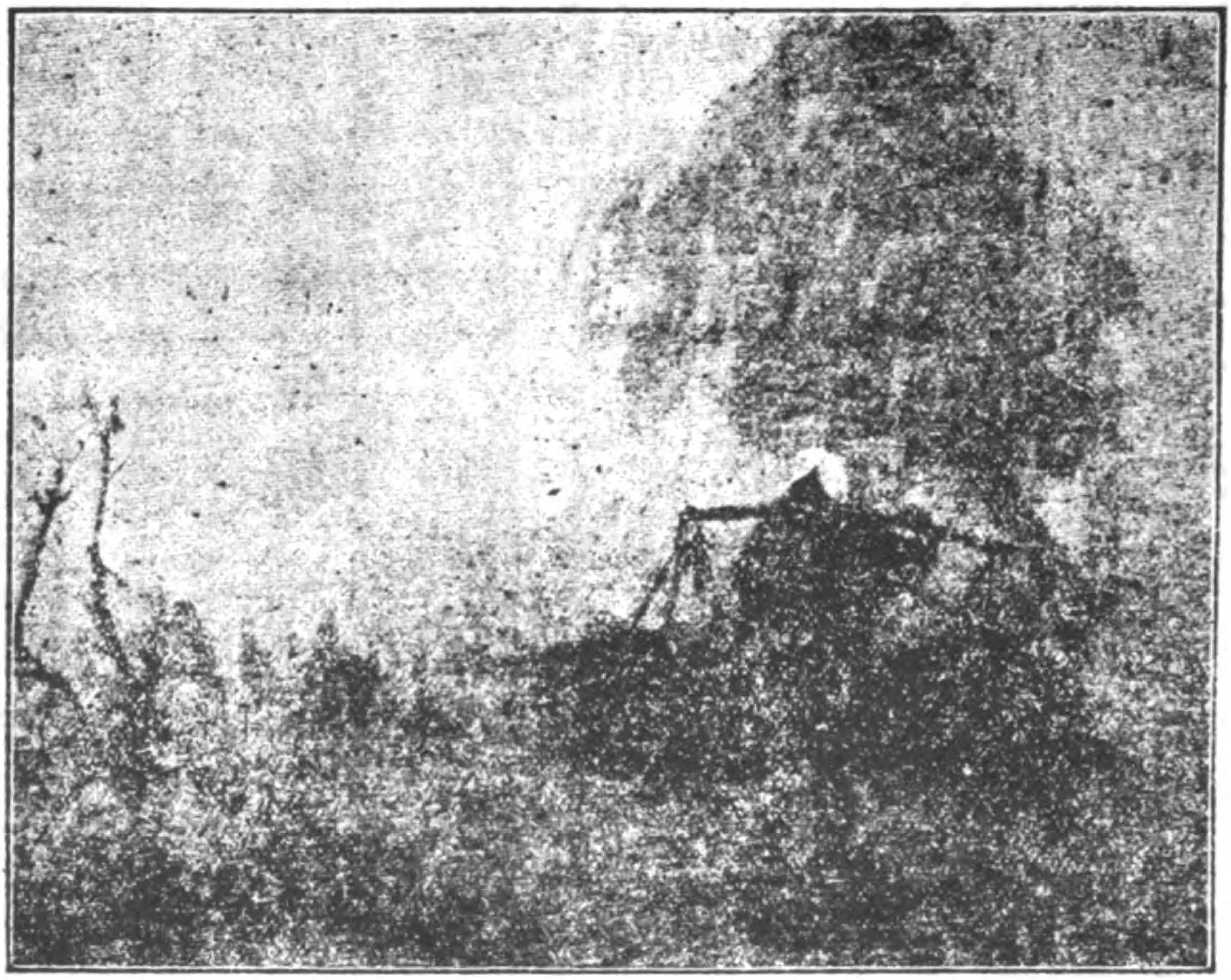
本郷駒込坂下町四八口座三九三〇
大日本雄辯會

講談雑誌の急先鋒
講談倶楽部
第四巻第拾壹號
正價廿五錢 郵税二錢

四百圓の大懸賞募集

●別れの尺八(人情小説)……佐藤紅緑
●千手院村正(新脚本)……關根默庵
●女髪結の仇討(新講談)……洞殿司
●教祖傳天理の栞(浪花節)……吉田奈良丸
■烈婦おちか(講談)……松村圓照
■日本の旗風(講談)……玉龍齋貞陵
■魂の匂ひ(落語)……阪東太郎
■陣風(活動寫眞)……根井生
■民膽物語……渚の人
■獨逸の落語
■女の禁厭
■冷水
■間瀬正辰
■潮田高敎
■九星運氣
■演藝評判記(東京、大阪、名古屋)
●天晴才次(俠客)……武田仰天子
●い組の政八(新講談)……望月紫峰
●戀の光秀(新講談)……夢想兵衛
●夕立勘五郎(新講談)……阿部彰

本郷駒込坂下町四八
講談社
口座六二六九
電話下谷五四〇、六四九



新眞婦人第十七號

霧

歐洲今回の大動亂は多くの人々に、戰爭を好む人類の本能は何時までも絕滅に歸せしむることが出來ない、平和主義などは駄目だとの感を起さしめた。

多くの人々が此際斯かる感を起すのは、一應は尤であるが、更に一步を進めて考へて見ると、さうではない。人は何時でも大思想を破ることが出來るが、併し永久に大思想の支配を脫することは出來ない。

大思想は例へば霧の如きものである、霧に取りまかれても、我々は思ふまゝに行動することが出來る、全く自由な樣である、併し全く霧の支配を脫することが出來ない。何時しか私共の衣袂の濕めれるを覺ゆる。

平和は人類の大理想である、世界平和の大理想は遂には人類全體の心を潤さずんば止まない。平和は實に霧の如くである、霧よ、霧よ、時々刻々に濃厚となり、乾ける人心に濕潤を與へよ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人に必要なる知識

記者

無痛分娩

（一）

獨逸のフライパアグで無痛分娩の方法を發明し、それを實行して居ると云ふことが、人から人へ傳はつて、今や印度からも、露西亞からも、南亞不利加からも、乃至は南北亞米利加からも、婦人が子を産みにフライパアグへ行くとのことである。

　フライパアグと云ふのは獨逸深林中の古い小さな都府で、そこには尙ほエラスマスの住んだ家が遺つて居る。此の都府にパアデン大學があつて、此の大學の醫科は伯林、ミユニツヒの大學の醫科と共に、獨逸で第一流の醫科として知られて居るが、無痛分娩の方法は即ち此の大學の醫科で發明されたのである。

　既に此の方法で分娩したものが五千人あつて、此の中の三千六百件に就ては詳細な記錄があるが、此の記錄を硏究して見るに、此の方法は母體にも産兒にも何等の損害も與へて居らぬ。一例として此の方法で分娩した一米國婦人の記錄を示さんに、『夜の十時に陣痛を始め、陣痛の間隙が四分おき位で來る樣になるのを俟て第一の注射を行ひ……………翌朝の五時には赤子が無事に生れた。八時には産婦の精神平常に復して珈琲などが飮めた。午後にはソープ、肉、野菜、果物、ビールなどを飮食することが出來た。其の又翌日には數分間室の中を歩き廻ることが出來、五日目には馬車で外出することが出來たと書いてある。

　此の無痛分娩はスコポラミンとモルフイアムとの混合液の注射によつて産婦を非常に輕い眠り、暗示を受

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

け得ると共に、筋肉の力を失はぬ程度に眠らすことによつて目的を達するのであつて、其の狀態に眠らすことが非常に六つかしく、藥品の使用に特別の智識を要するのである。茲が卽ち此の無痛分娩法の重要な點で、フライバアグで發明したと云ふのは此の點である。

(二)

スコポラミンは變化し易いもので、實に取扱難い、此の溶液はチエナー玻璃の壜に入れて置かねばならぬ。然からざる場合には水鹽素酸で洗つた壜の中へ入れて置かねばならぬ、而して熱と光とに近づけぬ樣にせねばならぬ、斯く注意しても、色が變つたり、曇りが出來たりする、ソンナ場合には捨ねばならぬ。變色し又は曇りを生せぬ場合でも其の効力は時によつて違ふ。ソレで最初は此の藥の使用に非常に困つたのであるが、クローニグ、ガウスの兩博士は、先人の研究の上に幾多苦心の研究を重ねて、産婦を苦痛は感せずに而かも出產に妨げない程度に眠らしむることに成功したのであつた。而して近頃藥劑學の敎授ストラウブがスコポラミンの溶液の變化せぬ方法を發見した、此の發見によつてスコポラミンの使用がドレ丈け便利になつたか知れぬ。更に最近にクローニグ、ガウスの兩博士は、此の藥液注射の定量に就て標準を定めることを發明した。斯くて此の方法は完成するに至つたのである。

最初、スコポラミンとモルフイアムとの混合液を注射してから半時間若しくば四十五分で、産婦は眠り始める。最初の注射から一時間目に第二の注射をする、其の時はスコポラミンのみを用ひる。此の時産婦に何にか一物を見せ、それから半時間立て又見せ、覺えて居る樣であれば、又注射する。ソレを記憶しなくなればよいとするのである。

(三)

文明の結果、婦人も精神過敏となりしもの丶增加し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

行く爲めであるか、ダン／＼分娩の際、より多く苦痛を感ずる婦人が増加し、自然、產科醫に對し苦痛輕減の方法なきやとの聲が大となつて來た。而して機械の助けをかりて出產するものが盛んになつて來た。伯林の上流社會に於ての如き、百人の婦人中四十八人までは機械の使用を要求して分娩するとのことである。機械の使用は產褥熱にかゝるものを增加せしめると云ふことは、能く／＼承知して居ても、分娩の苦痛に堪へで、之れが使用を要求するに至るのである。

併し幸にもフライパアグの方法が發明されたので、機械の助けをかりて出產するの必要はなくなつて來た。フライパアグの方法によつて分娩せば、產前、產後共に、母體にも產兒にも何等の害をも與へぬのみか、分娩の際產婦の神經を痛めぬから、產婦の健康囘復を早からしめて居る。

私は此の方法の一日も早く普及して、廣く人類を益せんことを熱望して止まざるものである。

（四）

右は近刊の『マックルア』雜誌より、其の大意を譯出したものであるが、私は此の文を讀みながら、此の科學的の方法によれる無痛分娩の、信仰によれる安產法と頗ぶる相似たるものあるを感ぜざるを得なかつた。

安產のお守札を頂いたり、安產の祈禱をしたりして、又は金光敎を信ずる婦人達が、同敎に『腹帶をするより心に眞の帶をせよ』『物によりかゝるな、神によりかゝれ』などの敎訓あるよりして、安產し、近頃では岡田式靜座法によつて安產する婦人が多いが、信仰によりて安產する時の產婦の精神狀態は、藥液の注射によつて一種の輕い眠りに這入て、無痛分娩するのと、同じ精神狀態であると、感ぜざるを得なかつた。

萬國婦人大會

萬國婦人大會は千八百八十八年にスサン・ビ・アンソニー女史、エリザベス・カーデイ・スタントン女史、及

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

びメー・ライト・セワール女史等が米國ワシントン府で開きしより始まるものである。當時は尚ほ婦人の選擧權要求に反對するもの多く、萬國婦人大會を繼續的のものたらしむるには、暫らく斯かる問題は表面より隱くして置くことを必要とした。斯くて千九百〇四年までは婦人選擧權要求に付ての常設委員が設けられなかつたのであるが、本年五月羅馬で開かれた大會に於ては

苟くも選擧政治の行はるゝ國々に於ては、婦人にも諸種の選擧權を與ふるを至當なりと確信す

との決議を爲すに至つた。此の決議に加はりしものは二十四ケ國を代表する婦人である。尚ほ同大會は賣淫の取締、結婚せる婦人の財產權確立と其の保護子供の敎育其他に對し、父と母との權利は同等たること、少年裁判所の設置を必要とし、其の判事は婦人たること、凡ての學校の上級に於て女學生には婦人と小供に關する法律を敎ゆること、多く移民を出す地方の學校に於ては移住地の習慣、法律などを敎へ、移住船には婦人の監督者を同乘せしめて、若かき婦人の移住を保護せしむること、などに就ての決議を爲した。

會長には三度びアバーデン孃當選し、名譽會長にはセワール夫人再選され、副會長には墺太利のヘンリー・ドブソン夫人が當選した。次回は千九百十九年クリスチアニヤに於て開かるべしと。

獨逸婦人思想の變遷

中世紀に於ては、歐洲の進步せる婦人の理想は尼僧となることであつた。中世紀の婦人問題は修道院で解決されて居たのであつた。獨逸婦人も亦た元より、當時は其の通りであつた。所が中世紀も終りに近づくに從ひ『尼僧としてよりも、母としての婦人の方が高尙である』と云ふ思想が起つて來た。恰かも此の時、例のルーテルが現はれて、大膽にも身自から先づ一人の尼僧と結婚して、實例を示すと共に、熱心に、尼よりは、母としての方、婦人は高尙であると云ふことを說いた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斯くてルーテル以後の獨逸婦人は、家婦たること、母たることを最高の名譽とするに至つて居たのであるが、之れが又近頃變らざるを得なくなつて來た。

經濟上の變動は、家婦たることを誇りとせる獨逸婦人をも、續々驅り立て丶、或は工場へ、或は又商店へ向はしめた、而して生活の爲めに勞働せる獨逸婦人の數今や一千萬人の多きに達するに至つて居る、此の中三百萬人は既婚婦人である。此等の婦人は實際既に家婦でないのだから、其の思想は早晩、家婦を最高の名譽とせぬ思想に變るに相違ない。

且つ下女の拂底から、日曜、祭日などには家族一同料理屋へ行つて飲食することの增加や、又家賃の關係から家を持ち得るもの丶、ダン〳〵減少して行く、此等の原因よりしても、家婦が婦人の理想たることは幻滅して行くに相違ない。而して大勢がソゥ傾けば事情に驅られぬもの丶思想も、さう傾くに相違ない。

獨逸婦人と同じく、日本の婦人も早晩さう思想が變つて行くに相違ない、之れは悲しむべきことでなくて寧ろ悅こぶべきことである。それは母としての衝動が深くなつて、一家の母たるに滿足せず、社會の母たるにも至らんとする傾向であるからである。

眞の進步

英國に起つたボーイ、スコート、譯して云へば少年義勇軍とでも云ふべき運動は、マッチなしに火を出すこと川岸の立木を倒し、橋にして河を渡ることなどより始めて、人間の手で造る、凡ての物を造ることを教へ、其の間に少年をして自然に觀察、搜索、機敏、犧牲などの諸德をも覺えしめて居るが、今や敎育家は此の運動の今日の學校敎育の缺點を補ふに適當なるものたることを認めて、敎育家とボーイ、スコートの運動とは共同するに至つて居るとのことである。日本の識者も茲に目をつけて、徒らに敎育が實際に役に立たぬ、日常の些事に就ては全く無能力なる人物を造ることを憤慨ばかりして居ずに、早く其の缺點を補ふべく、斯樣の運動を起さねばならぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

又近頃歐米では、少年裁判所、少年保護法、性慾敎育などに就ての議論が喧ましいが、斯かる問題の喧ましいのは、近來家庭の監督のゆるみしと、經濟上の必要から少年少女共に家庭外へ出て働く樣になつた爲めとよりして、少年少女の誘拐さるゝもの、社會的惡感化を受くるもの等が著しく增加して來た結果である。又性慾に關する正當の知識なきことが、ドレ丈け青年男女に入らぬ不幸を與へて居るかが明白になつて來た結果である。日本にも同樣の現象があるのであるから、吾々も之れを研究して論議せねばならぬ。

何時も總論ばかりして居ずに、實際の必要に應じて忠實に研究して、早くソレに對する相當の所置をして行くことが何によりも大切である。私は日本の宗敎家や道德家が何時も總論家で、忠實に科學的に社會の諸現象を研究して、救濟の策を立てゝ、行くの風なきを頗ぶる遺憾とするものである。

私はホントの進步と云ふものは、實際に此所をドウすればよいか、此の問題をドウ處置すればよいかと云ふ所を、早く忠實に研究して、適當な處置をする所から得らるゝものと信じて居る。

『東洋道德の西洋人』を讀む

△此の頃、英人、MNウヰリスと云ふ人が『東洋道德の西洋人』と云ふ書物を著述した、此の書は東洋に於ける西洋人の不品行に就て論じたものである。

△此の書の記する所によれば、緬甸の氣候に、白人の女と小供は堪ゆることが出來ないので、直ぐに本國へ歸つて了ふ、ソレで緬甸在住の白人は殆んど凡て獨身である、此等の白人は寂寥に堪へずして大抵は緬甸の婦人を妾とするに至つて居るとのことである。

△又蘭領ジャバのバタビヤに於ての如き、其の町の婦人の九割五分は白人の不品行によりて、花柳病に罹るに至つて居るとのことである。

△更に又東洋第一の魔窟、シンガポールのマレー街のことを書いてあるが、其の記事、實に人をして卒讀に堪へざらしむる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△此等不品行なる白人は、元より寂莫に堪へない所から、面白半分に有色人種の婦人を弄ぶのである。されば捨てゝ本國へ歸つたり、甲を捨てゝ乙に代へたり、隨分勝手なことばかりする。男が女を捨てた場合に、最も猛烈なことをするのはジャバの女で、其の薄情な男を殺さねば承知しない、ソレが出來ねば小供を殺して自殺して了ふと云ふ樣なことも書いてある。

△白人と有色人種との間に出來た小供は、よく出來ても其の才能に相當するの地位が與へられない、ソコで男は反抗者となり、女は賣淫婦にでもなるゝに至るのである。されば混血の男女の爲めに進路を開くことが目下の急務であると云ふ樣なことも書いてある。

△政府がシンガポールへ諸國の賣淫婦の上陸するのを取締らぬのは不都合である。娼家を廢止することは出來ないまでも、檢黴其他、取締が大切である。官吏や軍隊にまで梅毒の恐るべき勢を以て蔓延しつゝあるのを知らないかと、警告したりもしてある。

△私は此の書を讀みながら、既に滿妻、韓妻の新語が出來て居る程に、滿洲や朝鮮で日本人は不品行をして居る。臺灣の風紀も非常に紊亂して居るとのことである。日本人の殖民地に於ける不品行が、白人の東洋に於ける不品行に劣らざるの日の來ることは、遠くはあるまいと思はざるを得なかつた。

△英國では殖民地で不品行を覺えた者が、本國へ歸つてからも平氣で不品行をして、社會の風俗を紊すので困ると云ふことが、既に問題となつて居ると云ふが、日本でも遠からず、ソレが問題となるであらうと思はざるを得なかつた。

△又先づ日本の本國に於ける風紀を正すと共に、殖民地の風紀を正して、有色人種の婦人を侮辱する白人の目をさまさねばならぬと思はざるを得なかつた。

氣候と人間の行爲との關係

寒暖

槪して云へば、寒い時は沈靜の時期であつて、自殺にしても、發狂にしても、冬は少なくして、晩春から

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夏へかけて增加し、秋から冬へ減つて行く。特に盛夏に多いものは毆打、喧嘩なぞで、寒い正月に多いのは、病氣、死、飮酒などである。

風の有無

病人、死人は風の吹く日に多く、自殺、飮酒なども風の吹く日に多い。

晴　雨

何んでも雨天の日には少ない、自殺でさへも雨天の日には少ない、曇天にはヤヽ多く、晴天の日には更に多い。（エードウイン・グラント・デキスター）

十八歳

男は十八歳から二十八歳までの十年間に、非常の進歩を爲せど、女は十八から二十八歳までの間、其の精神も肉體も十八歳に近かるべく努めて居らねばならぬ而して結婚すると忙はしいから、女の精神は一生十八歳の娘時代と變らぬ位にしか發達せぬ。であるから婦人の讀物としては十八歳の少女に悅こばれる程度のものでないと成功しない。（ロサメレーデル女史）

罪を犯す婦人の男子よりも少ない理由

男子の犯罪者よりも婦人の犯罪者の少ないのは、主として男子よりも婦人の方が、外出すること少ないからである。其の證據に、外出の自由ある都會の婦人、工場などへ出勤せる婦人中より、犯罪者の出る割合は、田舍の婦人の中より出る犯罪者の割合よりは多い。

モウ一つの理由は、社會は改心した男子を受け入れるよりも、改心した婦人を受け入れることに躊躇する、夫婦の間に於ても、夫が過ちをした場合と、妻が過ちをした場合と違ひ、又息子と娘との場合でも違ふうのである。之れだから婦人の犯罪者は、男子の犯罪者よりも少ないが、其の代り一旦罪を犯せば自暴自棄になつて殘忍な行爲を爲すことが、男子よりも甚しいのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奇妙な盗人

靴とか、下駄とか傘とか、本とか、たゞ一種の品物ばかり盗む癖の盗人がある。斯かる盗人に限り、本なら本を見れば欲しくて仕方なくて盗むが、盗んで了ふとソレを人にやつて了ふ、欲で盗むのでも何んでもない、一種の病氣である。

賣淫婦の多くは、賣淫を恥辱とも不幸とも、何んとも考へても感じても居ない、彼女等の心理作用は能く右の如き種類の盗人の心理作用と、相似て居る。

英國の婦人撰擧權運動とタイムス新聞の仲裁

有名なハンプリー・ワード夫人は、婦人撰擧權運動者と非婦人撰擧權運動者の讓和に就て盡力し、タイムス新聞を仲裁者として、此の問題を首尾よく解決せしめんとして居るとのことである。

葬式の市營

葬式の市營と云ふことに始めて氣の付いたのは、瑞西であるが、今や墺太利のヴキンナ、佛蘭西の巴里、南獨逸の諸市、北威のベルゲン等は之れを實行するに至つて居る。此等葬式の市營を實行せる都市に於ては、一定の收入以下の住民の葬式費用は凡て之れを支辨しやり、ソレ以上は收入の高に從て、比例を立て、葬式費用を擔負せしむることにして居る。此の爲め貧民が無事に葬式の出せる樣になつたのみならず、其他の人々も之れまで葬式に要せし空費を省くことが出來て、悅こんで居るとのことである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女性の本能

西川文子

未知の世界の開展さるゝことは私共にどんなに恐怖と好奇の感を起さすか知れない、私が十三の少女で寄宿舎に入る時、母は洒木綿で前後に紐を通す樣にしたものと綿とを一しよにして行李に入れて呉れた、然かもきまり惡るさうに無言のまゝで、私はそれが何であるかは知らないが、理由を聞くのはやはりきまり惡いものゝ樣に感じて默つて居た、たゞ細々した事には氣の付き相にもない母にしては、似もつかぬ事を注意して呉れる樣に、しみ／＼親心の有難さを感じて、前栽の植込の間に出て淚を催した。

油紙につゝまれた其の一包は行李の底深く秘められて、夏休みにも冬休みにも歸省のお供を命ぜられず、留守を守つて居た、翌年の春私は女性としての始めての經過を見た、誰れに敎へられたこともないのに、母の用意して呉れたものゝ使用法を先天的に知つてゐたかの樣に、何の思案するいとまもなくそれを取出して用ひた、悲しい、恐ろしい面倒な事件、うるさい迷惑な恥かしい樣にも感じたが、又何とも云はうやうなき喜びに滿ち快感を覺えた、それは不具でない全き女性と云ふ自然の自覺からでもあらうが、一種の快よき刺激がさう感せしめたのであらう、それ以後毎月／＼ある別に珍らしい事ではないが、私の心にはそれが樂しくうれしく迎へられた、私の好きな遊戲も體操も思ふ樣に出來ず、湯に入る事すら出來ぬ可成束縛される不愉快な事であり相なのに、どうして心うれしいのか解らない。

それが女性の本能かも知れない。

お友達の多くは卒業してすぐ家庭に歸つた、私がま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だ專門に入つて勉强盛りの書生であつた時に、そして私は永く獨身で勉强をつゞける樣な氣がして居た。それを又私の理想は要求し、切望して居た、にもかゝはらず、一面には其の我儘を許しておく兩親の深き愛が却つて恨めしいと思ふ感情もあつた、一層一思ひに他のお友達の親達の樣に壓制して欲しいと思はぬでもなかつた、かくして男性と少しも變らない生活をして居た私が、意外に早く異性と相知り相愛して結婚するに至つた時は、女性らしい女性が世間並に結婚を强ひられてしたのとは違ひ、遙かに深き幸福と喜びとを感じた、之れは女性に限らない、久しく獨身生活をして妻帶もせず、家庭をなさなかつた、男性も屹度同感であらう。かの三十前後までも、獨身で職業婦人であつた人が、結婚し家庭の人となると、さも得意らしく自慢さうに、珍らしさのあまり一日も髷を離さなかつたり夫が〳〵と二言目には『良人』を口にするのも久しい間の本能の期待からであらう。

思つたより早く結婚した私は、普通の主婦生活と云ふよりは友人同志の共同生活の狀態を繼續して居た幼少より男性らしく感じて居た私に取つては、女性として人並の月々の經過さへ珍らしい特點の樣に覺えたまして結婚など云ふ事は何となく自分にはふさはしくないものゝ樣な自覺が先入して居た。なほさら子供を持つなどとは、絕對にあり得ないと云ふことを殆んど確信するとも云ふ程であつた、姉も友達も多くの小供を育てつゝある中に、私一人はいつまでもさつぱりした、淋しい小供らしい、男らしい、生活をつゞけて生涯おばさんと云ふ名稱を與へられて居なければならぬものゝ樣に思つて居た。

所が豫想外に私は姙娠もした、然かも自分にはそれが人ごとの樣におもはれてならなかつた、けれども亦たもつと女性らしい、母となるのにふさはしい人で子供のないのが多くあるが、もと〳〵女性らしい人には小供がないからとて男性らしくは思はれないからよい併し私の樣に男性と云ふ自覺の離れないものに、若しも想像通り小供がなかつたならば、全く女性としての

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

不具者でゝもある感がして心苦しい事であらうとも思つた。いよ〳〵出產をした時、私は之れが全き女性たる唯一の證據である樣に、此の上なき喜びと感謝とを感じた。

小供を持たないと自信して居た私は、でも一人であらう、二人であらうかく思ひながら三人も四人も擧げやうと云ふに至つた、理性から云へばもはや子供はうれしいばかりのものではない、その爲めに多くの勞力も費用も費やさねばならぬ、束縛もされねばならぬ不如意にもならねばならぬが、やはり私にとつては初めての時と同じ珍らしさを覺え奇蹟でゝもある樣に感じるそれは無自覺な婦人が子によつて活きて行かうと云ふのと同樣ではない、女性としての自己を活かす滿足の喜悅である。これが女性の本能であらうと思ふ。

かくても先入主となつて居る私は、家婦とか、母とか云ふ文字と、自分とは別ものゝ樣な感がする。さりとて本能にそむき自信通りの獨身であつたならば、不知不識ひがみ根性となつて、男性的活動を無理にもこばむに至つて居たであらう。本能の滿足を得て居る私が快くすなほにする樣にはならぬであらう、それを思ふても私は凡ての敎育といふものゝ基礎を、性質に從つてと云ふよりは、本能に從つて能く導かねばならぬと、つく〳〵思ふのである。

八月蛙聲會の記

八月はコの字の御宅の筈になつてゐたのを、急に御家族御避暑中のつれ〴〵にと云ふ御厚意でお珍らしい玉露女史のお宅で開かれた。折あしく出がけの來客にさまたげられておくれて私が參つた時は伊藤さん、日向さん、山田さん、小口さん、並木さん、井村さんと居並んで居られた。今日はさま〴〵と結婚について。實驗から來た、回顧談があつて、一かど大人のつもりであつたが、まだ〳〵小供であつた、もつと〳〵自覺してからすべきものであると云ふに一致した。『もつと勉強さして下さい、廿歲まではどうしても』と嘆願するのを、只にや〳〵よし〳〵と笑つてばかり居て、親類の人々が、若いものが自から世帶を持ちたいと云ふものはないからよい加減に定めて了ふのがよいと云つたと云ふ、その一言で定められて了つたなどはよい迷惑であつたなど、玉露女史のすら〳〵したお話の中には思ひがけぬ奇拔な警句が多く、をかしさに笑はせられた

九月は第二日曜、午後一時より芝公園十五の十一小口みち子さんのお宅で開きます

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四十年前佛國の敗因
皇后ユゼニーにあり

ポール バシリー

◎佛國が普魯西に宣戰を布告して後二十四時間、卽ち千八百七十年の七月廿日に、當時露國大使館の書記たりし自分は、巴里へ乘り込んだ、此の時、街上の群衆は何れも禁止になつて居るマルセユーの歌を謠ふて居た。カッフエーの前を通る、どのカッフエーも、どのカッフエーも人を以て滿され、代る〴〵誰れかゞ椅子の上に立ちて『伯林へ』と叫び群衆之れに和して口ち口ちに『伯林へ』と叫び、巴里全體狂せるが如くであつた。

◎大使館へついて後、私は國境へ送る佛軍の用意が整はず、當局が頗ぶるまごついて居ると聞いて驚いた。ナポレオン三世は健康すぐれぬソウだから。國境に向ふよりは巴里に居る方がよろしからう。皇后ユゼニーは、巴里で不人望だと云ふ樣な話も耳にした。

◎ルイ十六世と其の皇后マリー・アントニイテーは、チユレリー宮殿から引き出されて、斷頭臺上の露と消えたが、此の宮殿に住ふに至りしユゼニーは、かれてから自分も早晩、マリーと同じ運命に遭遇すると云つて居た。されば同年七月二十八日、ナポレオン三世が國境へと出發した時ユゼニーは涙を以て之れを送つた。而して皇帝の出發と共に、巴里の人氣が少しく荒くなつて來ると、ユゼニーは近臣に向て

　敗けた場合ばかりでない、勝つても人民は、此の戰爭を私共を追ひ出す口實にするだらう

と口走るに至つた。

◎皇后は始めから斯く惡い方へ、惡い方へと想像して止まなかつたのであるから、形勢いよ〳〵險惡となつて來ると、皇帝の巴里へ御還幸が此の際得策であるとすゝめるものがあつても、皇后はソレは危險であると云ふて採用しなかつた。皇后は又、首府の防禦の爲めにマクマホーン將軍の軍隊を巴里へ近づかしめた、之れがセダンの敗因の一つとなつた。

◎皇后が敗報を手にしたのは九月の三日である、此の日私はチユレリー宮殿の前へ行て見たが、至て平和で其邊の人民は寧ろ皇帝の爲めに心配して居た。其の夜も靜かで、四日の午前も靜かであつた。何人の頭へもセダンの降服を聞くと同時に廢帝と云ふ考が起つたのではなかつた。ソレにナポレオン三世は人望あり殊に巴里の勞働者には人望があつたのであるから、若しも皇后が普魯西と平和の談判を始め、皇帝を巴里へ歸して貰ふて、人民に直接訴へしめたならば、尙ほナポレオン三世の位地は安固なものであつたらう。然かるに皇后は狼狽して思慮茲に及ばず、早くも逃走して了つたので、遂に皇帝は廢せらるゝに至つた。

◎ユゼニーは非常の美人で、頗ぶる人を引きつける力があつたと云ふが思慮は少し足らぬ婦人であつた樣である。ナポレオン三世は丈の低い、頭の大きな、目を半開にして居る時にはナカ〳〵愛嬌のある人物であつた、其の佛語には獨逸ナマリがあつた、之れは其の少年時代を瑞西で送つた爲めで、後年此のナマリを直さうと一通りならぬ苦心をされたが、直らなんだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

妹むこへ

あぐり遺稿

健さん是は靜子に見せないで讀んで下さい、私の爲も少しはあるかも知れませんが、靜子の心の平和の爲にです。

健さんあなたは何故私にあやまつたのです、心の關係が絶えては生きられぬなどゝいふ手紙を何故書いたのです、私は友の云ふ事を輕い氣まぐれとして聞く事の出來ない性質ですからあゝいふ文を心では冷笑しながら書いたとは思へないのです、しかし又此前の時のやうに靜子は自分の自由の意志で選んだのだとか自己の責任でどうしたとか誰もさうでないと主張しやうとも何とも思つてはゐないのに、水臭い文をかく時、よくわかつたなつかしい溫いしみ／＼した敬虔な心をもつて筆とつたとは思ふ事が出來ないのです、私はどちらも文字の通りに受取つてよむのです、一つの源泉から甘い水と苦い水が出る事があるでせうか、小説や劇を通じてあなたは多くの女を見たでせう、しかしその多くは男に描れたもので男が見た女なのです、たまに女が描いた女があつても、やはり薄衣はまとはせてゐる、畫家のアトリヱのなかに立つ女ほど自分をあらはに示すやうな勇氣あるものが少ないからまだ細微な心の皮膚の小波まで寫してはゐません、ですから型でこしらへたやうなローマンチックな考へや淺薄な筋書の役わりにはまるやうなものばかりありません、とはいへ私の注文は本當にむづかしい、それは私も自分でよく知つてゐます、思へば健さんにもその爲に隨分苦勞をかけました、又御世話にもなりました。

健さんは私が怜悧だからとかあるひは權識を保つ爲とかいふ芝居氣で靜子をほめたり愛したりしてゐると解し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てはあまりにつきなみです、私はそんな小さい怜悧やお化粧らしいお化粧はいやみで大きらひ心の底から美くしくならなくては虫がおちつかないのです、それは霊の健康からでなくては得られない徹底的な美容法です、それこそ健さんの所謂自由の意志によつてなのです、その山頂に立つた時には最早靜子といふもの丶うちに入つて靜子の絶體の幸福を祈るやうになつてゐたのです、（私は自分の心のうちのちらかつたのは自分一人で始末をするのです隈から隈までひとりではき出してちりひとつ置くまいとするのです健さんにだつて手傳つて貰ふのは望まないのです）、そこにはもう小さいせまい意味の自我といふやうなものはないのです、それが健さんにはよくわかつてゐなかつた、その骨の折れた神經的な片づけものを美事仕上げた慰勞としてはたゞ絶對の信といふものがほしかつた、といふのが私の慾なので思へばはづかしい心でした、やつぱりそんな求める處があつたから惡かつたのです、健さんと私丈できりひらいて來た過去の道を靜子に云つて聞かせぬのを心がすまぬ位にさへ思つてゐる私に、なんで自分にはづかしいやうな不純な悶えがありませう、私は人間を相手に外側の戰ひなどしてゐたのではないのです、染井の新居にはめじて送つた彼の文は內容は私の爲で匿名は靜子の爲でした靜子の心の平和の爲でした、それを健さんはのぞみもしない靜子に渡して、讀ませて聞いた、象徴的な言や論文めいた文句が靜子を如何考へさせたか私には解りません、けれど健さんがそれについて靜子に說明しなければならなかつたとはあなたから聞いたことです、健さんは無秘密主義だといふ、それだから自分あての手紙も妻にひらかせる、無論私の手紙の中にやましいことなどあるわけがない、そんな事にはかゝはりなしに、それは禮しらぬ事の樣に思はれて面白くなかつたのです、無秘密主義はいひ立になりません、それならばあなたが近く過ぎて來た心の經路をありのまゝ靜子に打あけてきかせる事が出來ますか健さんはいふでせう同じ位の處まで來てゐるものにはいくらでも打明けるが靜子に今話すのは靜子の爲に考へたいと、私もその爲でした、私がどれ程靜子の心を大切に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

してゐたか又極端に自分を捨てやうと（其結果眞に自分を得る事になるかもしれないが）してゐたか健さんには汲まれなかつたのです、否信じ得られなかつたのです、あなたがその時靜子にした説明だといつて私に話した言くらゐ私を冷したものはないのです、あなたは靜子に―姉さんと三村の姉さんは私達のやうな愛の生活は知らない全く便りない身なのだから――と云つたといふぢやありませんか、うまくやるから見てゐて御らんなさいといつか健さんの云つたのはそんなめつきのやうな事なのですか、私も三村の妹も妙な憐みを知らない處でかけてゐてもらふのは嫌ひです、ことに私も三村の妹も友の面目を心の委任狀によつてあづかつてゐる身です、責任があるのです、絶對に理想的な愛の生活は或は知らないかもしれませんが少なくとも手續丈でもあなたと靜子のよりはより自發的なものでした、それが幼稚であつたにしてもローマンチックな考へであつたにしてもそれは別問題として兎に角憐れまれるやうなものでなかつた事丈は確かです、それが又私と三村の妹と健さんとの友情に何等の關係もある事ではないのです、あなたは私達が友から預つたものを勝手にひくゝ評價したばかりでなく靜子をうまくあやなしたのです、前の樣に靜子に云つた健さんは私のまへで靜子をあなたと思つて何處までも連れてゆくとか、まだそれに似たいろ〳〵な事をいつて居るではありませんか、健さんはその通り靜子の前で云はれますか、いくら靜子がおとなしくても個性を見とめられない樣な言を平氣ではきゝますまい、もしまた何の感じもなく甘んじて代りになつてゐる樣な靜子なら自覺させなければなりません、あなたは尊い眞珠の言を私が土に投げ出すと思ふでせう、健さんも私がこゝろに織りあげた錦を手荒くひき裂いて捨てたのです、あなたは今になつて意志の責任のといふ、それはさうでもありませうが、私は又私としてとにかく靜子をあなたにすゝめ、靜子にも健さんの事をよく話して橋渡しゝた責任は私自身で感じてゐますから一しほ深く考へます、人に云はれるまでもなく靜子を靜子として愛して下さるならば「あなたと思つて」などゝ無意味な言はいはないものです、私は

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

それほど利己主義者ではありません、私は私の友にでも誰にでも健さんをわりびきして紹介した事はありませんわりびきしなくては通らぬやうな價値のものならむしろそんな勞はとらない方がよいと思ふのです、けれど健さん私はもうあなたに怒つてゐるのではありません、あなたは自分がすべて手落ちであつたから元の心で聞くならば自分の立場を明かにする術はあると細々書いて下さつたのですし私も又きかなくても、此上はたゞ靜子を妻とも母とも妹とも友とも生命の泉とも思つて愛して行つて下されば何もない、最早何も云はないで啞の樣にしてゐて下さいと、御返事をしたのですからその事は最早すんでゐます、而して私も大ぶ忘れかけました、こんな細かに書いた譯は、今度は〳〵と書き送つて下さつたあんな長いあんな深い御手紙に對して感じのないものゝやうに、反響のないふれてゐない彈力のない御返事をかゝなければならなかつた是からもならない理由を云つておきたいからなのです、今さら手紙を靜子に見せないと云ふ事は家庭の平和の上から出來ない事ですし又出來てもしてはいけないのです、靜子と健さんに書く事はいくら一體同心の夫婦でもおのづから異るのです、二人でよむ文はすべてふたりに一つの事でなければなりません、私は思ふ通りをかくかそれでなければかゝないかです、拈華微笑的の文を書くほど靜子を向ふへ廻しては考へられないのです、靜子は私の敵ではありません、私の可愛い妹です、健さんに對する私の態度のすべては靜子の心の平和と家庭の幸福を願ふ心から出てゐるのです、それは健さんが少し考れば よく解るのです、かりに私がその事を少しもかまはずふるまつたとして想像して御らんなさい――

私はすべて神の鏡にてらした上自分の意志で事をきめて居ます。未決でゐるうち外から餘儀なくされた事など一つだつてないのです、それまで空しく待つてはゐないのです。

利根川の水底に人知れず流れに押れて轉ぶ小石の上までも思ひやる健さんだからキツト今によくわかる時が來る。私の聞きたい歌といふのは、歌ひたい歌といふのはかういふのではありません…………

世紀は新になりました、健さんと私の間には忘れ水が流れるといふレーゼエンの河が一つ隔つてゐます。

（大正三年五月某日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ソクラテスの妻ザンチップ

齋木仙醉

記者は齋木仙醉氏が七年振りで歸國されたと聞き、早速御尋ねして色々と御話を承はりました、同氏は在米中

世界の四聖中、獨りソクラテスに祝日なし、願はくば祝日を一定して世界の人々に彼を紀念せしめよ

と云ふ趣意でソクラテス運動を始め、加州全體及び布哇二島を廻はつて。

無欲にして義務を重じ、知識を尊び眞理を愛すべし

とのソクラテス教義のコンデンスを說いて步かれたソウですが、今後は日本で此の運動を始めらるゝとのことです。

同氏は在米中、常に心掛けてソクラテスを研究し、ソクラテスに就ては創見ありとて

私は彼を科學者と見て居る、彼は成程木石を研究されなんだ、けれども人間を科學的に研究された人です。凡そ物を研究し始むるや左右、上下、四方八方より考へて、精確なる知識を得ずんば止まじとする彼の態度は科學的と稱さねばならぬ、科學は一つの態度であり、一つの原理である、ソクラテスの彼の態度は立派な科學者の態度である。

と語られ、又

ソクラテスの人物はデモニヤック（即ち鬼人で）あつた、彼は半ば隱れ、半は現はれた人物であつた、彼は神秘的な人物であつた、而して眞の科學は神秘的なものであるから、彼は眞の科學者であつたのである。

と語られ、更に又

一番最初は宗教時代（釋迦）で次は哲學時代（基督）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

次は倫理時代（孔子）で、最後に科學の時代（ソクラテス）が來つた、之れ今日までソクラテスを中心とした團體のなかつた所以で、今やソクラテスを中心とせる運動の起らんとする所以である。

斯く私はソクラテスを中心とした運動を起さうとして居るのであるが、誤解されては困る、私は何にもソクラテス一人を崇拜して居るものではない。私は『普遍的な宗教を信じ、宗教、哲學、倫理、科學を皆な聖なるものとして主張する』ものです、私のソクラテスを云々するのは科學のシンボルとしてゞあると語られた。

斯くソクラテス談が花を咲かした所から、記者は彼の妻サンチツプのことに就き、同氏の意見を叩いた。

或時ザンチツプは怒つて井戸に走り行き、手桶に一杯水を汲み來つて、ソクラテスの頭上で引つくりかへした、それでもソクラテスは平然たるもので、雷鳴の後には驟雨ありと、濟まして居たと云ふ話が傳はつてるが、今の批評家は此の話を緩和して『ソクラテスは思想家であり、傳道に熱心であつた爲めに、充分家庭を顧るの暇がなかつた。ソレで妻君は時々はソクラテスに小言を云ふ、ソレは事實であつたらうが、聖人ソクラテスに對して對照の妙あらしめる爲めに、わざとザンチツプをお轉婆にして、話が大げさになつて傳つたものであらう』と云ふに一致して居る。

私の研究した所によると、ザンチツプは若かい美貌な婦人であつた、此の若かい美貌な婦人が一生ソクラテスの様な風釆の異様な、跣足で歩く風變りの人物に連れ添うたと云ふことから考へ、又其の時に夫に小言を云ふのは、一は一家の經濟のことからで、二には嫉妬からであつたことから考へて見るに、彼女は確かにソクラテスの偉大なる或點を知り、之れを愛して居た夫思ひの婦人であつたに相違ない、ソレで私は彼女を面白い女であつたらうと想像し、彼女は舊い新しい女であると云うて居るのである、舊い新しい女と云ふのは、昔の新しい女と云ふ意味である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ハガキ通信

みをつくし

(一)

凉を追ふて西下三百七十餘哩、須磨の宅に入りて凉風を浴す。

「凉を追ふて山清き、須磨に青嵐」

一錢五厘だけ此の此の凉味を分配申上候。

今日は藻汐やく西海の偶に、明日は直ちに東上木曾路より生幽のみすゞ刈る信濃路へかしく。

(西須磨浦にて)

(二)

「淺間山から鬼が尻出して世界われる樣な屁をたれた」

これ我等信州人の意氣をうたへるもの「木曾の御嶽夏でも寒い」と共に!

「蟬の音も木曾路の旅は凉しかり」

「信濃の秋は早し、桔梗ヶ原の露」

(信州御代田驛にて)

(三)

みをつくし百態の見本として東山温泉福住樓四階の椽に立ち對岸の青嵐に。

目を擧げ脚下の岩を嚙む溪流に耳を洗ふ態をお目にかけ申候。

(攝津一の谷の海濱)

「當地方の婦人連の意氣地なしよ」と姉の言葉に候、早く一日も早く、婦人連の目の覺める時の來るのを祈り居り候、新眞婦人の御發展を祈る。(若松市にて)

(四)

南の國須磨の海の夏雲、信濃路の秋、今は北の國バンダイ山下猪苗代湖畔眞盛りの桔梗の紫に吹く秋風。

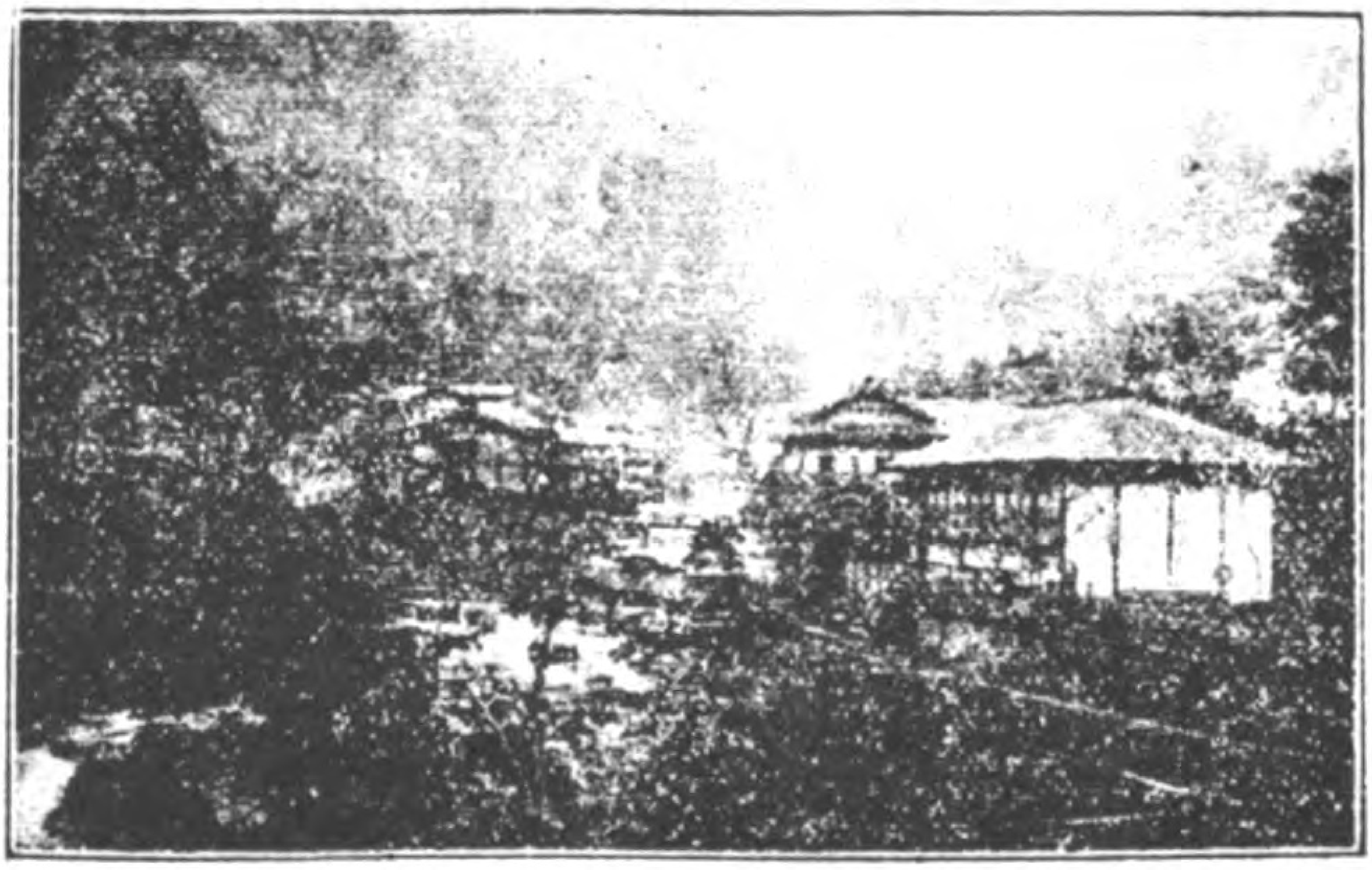
「唯我と野菊に秋の風吹けば、
バンダイ山麓雲わきて飛ぶ」

「山路行けば桔梗の紫ゆら／＼と秋風吹き、
日は照れり靜かに」

「靜かなる原よ風よ日よ空よ、キリギリスの音
夏草のイキレ」匆々

(會津東山温泉にて)

八月七日



(會津東山溫泉)

海外婦人消息

中尾清太郎

マッギイ●テイト孃が、クラウド●ドビッシイに會見を遂げて、言つてることが斯うある。ドビッシイは彼の音樂が一般に理解されなくても、さう失望してゐない。さりとて又今日の音樂に對する極端な現代的傾向をも、さう喜んではゐない。彼は具眼者の鑑賞を以て滿足してゐる。そして世間の多數が何う言はうと、それは意に介しないやうだ。彼は古いイディオムでは新しい思想が歌へないから、何か一つ。新しい國語が欲しいものだと言つてゐる。そして、それが出來なければ、作曲はもう止さうとまで言つてゐる。

* * * * *

ロンドンで婦人クリリケット倶樂部が、サイスリイ●ハミルトン孃を會長に推し、イーセル●ビル孃を書記に、エフ●タブリユウ●ワーナア君及びビートリス●ハーラデン孃を後楯にして組織される筈だ。若しこの『海外婦人消息』に注意される讀者だつたら、之が直ちに女流文士側のものだと云ふことに感附かれる。

* * * * *

評判の婦人月刊雜誌『貴婦人國』は、今度發行所が變つて、ロンドン、ロングエークル、オドハムス株式會社から出ることになつた。内容も變ることであらう七月號が即ちオドハムスになつてからの第一號だ。

* * * * *

パリ大學から、文學博士號を貰つたジャン●ダボータ孃の論文は、十七世紀の繪入本に關するものであつた孃は下院代議士アーモンド●ダボータの孫娘ださうな。

* * * * *

マリイ・コレリ孃の新作小説が、此夏に出る筈だ。孃ほど、小説の出るまで内容の吹聽をしない人はない。もちつと吹いたらよからうがとは毎度出版書肆の言ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

所であるが、それでも出れば大に賣れるのが不思議だ。

* * *

ロンドン女子公立晝間學校合同の建物及び基金後援會を扶ける爲めに、ソフオクレスの『エレクトラ』を六月中二度演つた。グランヰル●バントック君の音樂がオーケストラとコーラスとで用ひられた。演伎はエルシイ●フオガーチー孃の監督で、ルビー●ジンナア孃もダンスの方などを手助けした。音樂の指揮者は、ゲルトルード●キムプトン孃で、オレステスの役はフイリツプ●メリヴール君が名優ツリイの贊助を得て勤めた。

* * *

ジエー●チー●グレーン夫人(alix grein)の新劇『審判に列なる人達』を、サー●ジヨージ●アレキサンダーが引き受けて、此秋早々ロンドンで演出されるといふことだ。

* * *

若い踊子の中で最も花やかなとの評判あるマアガレツト●モーリス孃は、チャンバーレーン卿の贊助の下にチエルシーのフラッド街に一つの劇場を起した。六月三日が初興行であつた。番組は舞踊としてのベートーヹンのセヴンス●シムフオニイ(但しピアノのみ)、ヘスター●セーンスベリイの詩の演奏、サー●エドワード●エルガー、ドビッシイ及びスクリアビンの音樂に合はしたモーリス孃の新しい舞踊などであつた。第二回興行は六月十日で、ハルコット●グローヴーの一幕物『壓迫』をビー●アイデン●ペーン君が演出した。それからガルスヲルシー君の『春とフオア●キンド』と題する舞踊、土耳古舞踊、及びセヴンス●シムフオニイが再び演じられた。

* * *

劇場園遊會の特色が年年認められ年々發達して行くやうだ。今年六月二十三日にも役者の孤兒の爲めにリゼント公園の植物園でそれを開いた。贊助出席者の中には、有名な女役者で、イレネ●ヴンブルー孃、ゼニイ孃、ワイゴン●アルノウド孃、フランセス●アイデル

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

嬢、フイツス●ブロウトン嬢などがゐた。

*

救世軍生活を描いた最初の小説 "Sister Ieffenes" がロンドンのニスベツト社から此五月に出た筈だ。著者はミユリエル●クラーク嬢とて、救世軍の一員として過去七年間、親しく其勤めの爲めに働いた人だ。材料は勿論其階級から獲たものだ。

*

ロンドン接神術協會の會頭アンニイ●ビサント夫人は、印度問題に就て、正義に對する印度の抗辯と題し、印度は果して帝國の障壁たりや將危險物たりやと女王會堂で六月十一日講演をやつた。

*

ルヒアルド●ワグネルの未亡人コンマ夫人と、其息子ジーグフリードとは、ワグネルに縁故ある建物や劇場を悉く獨逸人民の手に渡すと云ふことである。

*

前題のビサント夫人の講演の夜は、滿員謝絶の盛會で、勞働組合員、社會主義者、アリストクラツト、哲學者、政治家、社會改良家、各階級の男、女、一齊に喝采して彼女を迎へた。バーナード●シヨウは夫人を以て英國最大の、否歐洲最大の、否否世界最大の講演者と褒め千切つた。

*

オリヴ●シユライネル女史の "A Story of an African Iron" が初めて世間に紹介されて、それがバストランドの一牧師ジー●シユライネルの娘だと知れてからもう三十三年になる。彼女は其處で生まれたのだ。一八九四年には南阿で有名な政治家のエス●シー●クロンライトと結婚した。それから三年の後、"Trooper Peter Halket of Mashonaland" を出版した。それで漸く評判らしいものを獲た。しかし著述家としての名譽は現在及び將來に亙つて、一九一一年に出版した『婦人と勞働』の上に繫るであらう。

*

ロージヤー●ワツツ夫人の『希臘思想の復活』に就て

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は、一度書いたが、其生理的修養の新方法を示す運動や、其生活の理想を説く理論を、ロンドン人は、彼女から直接に聴き、直接に見せて貰ふことになつた。既にリッツル●シアトルで六月廿三日第一回の講演實習があつた筈である。

＊　＊　＊　＊　＊

去年三月アメリカで始めたキンスロップ●エームス氏提供の一萬弗懸賞脚本の審査は、凡そ一千六百四十六種のアメリカの脚本に就て、エームス氏、クローベル氏、トーマス氏の手で行はれ、當選は、アリス●ブラウン孃の "Children of Eurth" と定まつた。孃は短篇作家で、一幕物の脚本もあるが、今度のやうな長いドラマは初めて書いたのだと云ふ。孃は今年五十七で、ボストンに住まつてゐる。最初の著作は "Fools of Nature" "Meadow Grass" などで、後英國に旅行して、"By Clak and Thorn" と題する印象記みたやうものを出してゐる。エームス氏はニユーヨークの富豪援助劇場の前監督。トーマス氏は有名な脚本作者で米國ドラマチスト協會の會頭。クローベル氏は『ニユーヨーク●タイムス』の前劇評家、三人して無記名の脚本を審査するのに、丁度十ケ月かゝつた。そしてブラウン孃の脚本は滿場一致で可決したと、『デーリイ●エキスプレス』は言つてゐる。脚本は田園的なニユーイングンドの日常生活を爲組んだものだと云ふ。

＊　＊　＊　＊　＊

前題ワッツ夫人は柔術の專門家と呼ばれてゐる。姿勢をつくるのには、專ら大弓を張ることを敎へる。それはグリースの建築に見る影像から範を取つたもので勿論其元はグリースのアスレチックスから來てゐるものである。

＊　＊　＊　＊　＊

『薄明睡眠』と名づけて、ドイツのフリイブルヒ病院でやり出した無痛分娩法には、スコポラミンとモルヒネとの合劑を用ひるのだが、其スコポラミンと云ふのは、ハムレットの父が殺された毒藥だとの傳說のあるものださうな。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

綠に暗き夜

山田きよ

龍子　實業家の妻。
お靜　妾せる女。

（綠陰の瀟洒なる四阿屋に對坐して居る）

お靜『まあ涼しい。恰度鹽原へ行つたやうですこと、私此お邸は始めてゞすわ。

龍子『逢はない事になつてから三年になるのね、でも靜ちやんは綺麗になるばかりよ。

お靜『いやですわ。前の旦那が燒餠やだから地味なものばつかり着せられてね、從姉さんよりは老けて見えましよう。

龍子『まさか何て言つたつてまだ若いんだもの、それに苦勞するつて言つても何處か呑氣な處があるんでしよう。肥つてるわねえ。

お靜『從姉さんこそお若いわ。全くお幸福な方ね。お不自由つて事は藥にしたくも無いんですもの、一日でもいゝ貴女の御身分になつてみたいこと。

龍子『なつてみたけりやあ代つてあげてもいゝことよ。

お靜『御冗談でしよう、いやな從姉さん。

龍子『でも私の身分には恰度あなたのやうな女がいゝのよ、それから主人にもあなたのやうな女がいゝのよ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お靜『從姉さんつてば眞實に厭ですわ。（四邊に眼を配り）私かうして居ながらもびく〳〵して居るんですよ。

龍子『なあぜ？

お靜『いくらお主人がお留守でもねえ、靜が來たつて事が、あとでお耳に入つたら從姉さんが肩身の狹い想をなさるでしようと思つて。

龍子『構やしないわ、どうせ來て了つたんだからゆつくりしてお出なさいよ。

お靜『私もね從姉さんにお目に掛る迄は斯して優しくして頂くとは思ひませんでした。人間並の扱ひをなさらずにきつと厭な顏してお返しになるだらうと覺悟して來ましたの。

龍子『可愛想に靜ちやんも僻む事を知つたのねえ。そりやあ私だつてあなたが愈々身を落して了ふと聞いた時は、憑んなに悔しく思つたかしれないわ。いくらお金に困つたからつて、親の爲に一生を捨るなんて、私はあの時あなたが私の處へ逃げて來て呉れる事と思つて待つてたのよ、然したら私か立派にお嫁にやらうと思つて、派出な着物をみんな長持に入れて待つて居たの。

お靜『ですからあの時纒まつたお金を貴女が出して下さればねえ。

龍子『靜ちやんあなたはまだ分らないの？　あの時にお金で繫ぎ止められると思つたら、きつと私だつて出したでしよう。けれど最う彼時からあなたは幾人の旦那の世話になると思ふの、お父さんが相場の方を止めない限り靜ちやんにはお金は却つて仇ですよ。それよりかあの時はあなたの氣持つてものが大切だつたの。そりやあお嫁入前の靜ちやんだつたから自暴になつたと言ふんだらうが、あなたはあんまり自分つてものを考へなかつたのよ、立派に學校迄卒業しながら惜しいわねえ。でも後悔しない方がいゝわ、あなたは自分で自分の運命を作つたんだから。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お靜『でも親から手をつかない許に賴まれたんですもの。

龍子『靜ちやんは全くいゝわねえ、それだから世話になる旦那にいち／＼惚れてしまふんだわ。

お靜『けれどみんな私には眞實があつたんですよ、お父さんさへお金の事を言はなけりやあ、何時迄も世話してやるんだつて言ひましたわ。

龍子『あなたはさういふ氣分だから男に可愛がられるのねえ、つまり玩弄物にいゝ女なんだわ。

お靜『でも親切にされゝば惡い事も出來なくなりますもの。

龍子『その親切つてものがみんな靜ちやんを馬鹿にしてるんだわ。何故おもちやにされる事を悔しく思はないの、何故男の身代を潰す程絞つて靜ちやんの方から突放してやらないの。

お靜『悔しいと思つたつて私の力ぢや仇にもならないんですもの、斷念るよりほかありませんわ。けど芝に殘して來た光坊が居ますから、大きくなれば其處はやつぱり親子ですものねえ。

龍子『そんな事を樂しみにして居るの、靜ちやんあなたはまた年老つてから苦勞するわねえ、それよりか自分つてものをよく考へてごらんなさいよ。

お靜『いくら考へたつて同じ事ですわ。從姉さんのやうに樂に日を送つていらつしやる方はいゝけれど、私なんぞが考へ始めた日には大變ですわ、だからいつか自分の身の上に好い事が湧いて來るんだと信じて暮して居ます私はその日／＼さへ無事にゆけりやあいゝと思つて居ますの。

龍子『さうねえ。あなたのやうに現在にだけ滿足してゆかれる女は、ひよつとすると私より幸福な女かもしれない。

お靜『從姉さんにも御不足がありますか。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

龍子『……………………………

お靜『ねえ從姉さん。きつと貴女の御不足つて言ふのは食後に果ものをお望みになるやうなものでしよう、私達は御飯を頂くといふ事だけにも心配して居るんですよ。

龍子『靜ちやんは私の事なんぞ考へないでいゝことよ、私は樂な日を送つてるつて事が苦痛なんだから。

お靜『へえ…………

龍子『……………

お靜『ねえ從姉さん自分の身分で生意氣のやうですが、お目に掛つたら言はうと思つて居ましたの。

龍子『なあに？

お靜『人の噂さではね、貴女のお金遣ひが烈しいので、御主人の御親類が喧ましいつていふ事ですよ、餘計の事ですけれど貴女も少しはお氣をお附けになつた方がよからうつてね。

龍子『私が贅澤するんですつて？　さうねえ、もしか私が世帶ぶつたお主婦さんになつたら困る人が出來るわ。

お靜『まあ慥して？

龍子『私を飾らして置く人のたつた一ッの長所を失はせる事になるでしようよ。

お靜『だつて世間の人は虛榮心の強い女だと思ひ違へますわ。

龍子『世間なんて慥でもいゝぢやないの。然し靜ちやん。童貞のやうな姿してる女ばかりが高潔だとばかりも言へないでしよう、世の中には有髮の尼だつてない事もないでしよう、私は主人一人の事なんぞ問題にしてるのぢやないのよ、自分から味噌漉さげてもいゝと思ふ程の男が此世の中にないつていふのよ、唯それだけ。

お靜『まあ呆れた…………………

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

龍子『だからせめて女盛りを若く綺麗にねえほゝ。
お靜『でもそれがお出來になるから羨ましい——さう言へばいつか好きな方があつたやうに伺ひましたが。
龍子『好きな方？　えゝ、あんまりあつて困るわ。家の鸚鵡だつて好きな方のひとりよ。
お靜『隨分だわねえ。ぢや從姉さんは戀つてものをよく御存じでしよう。
龍子『いゝえ。
お靜『ぢや戀はなさらないの。
龍子『えゝ。眞實の戀なんて容易にするもんぢやないと思つてるの。
お靜『嘘のがありますか。
龍子『えゝ。お飯事して遊ぶやうなの。
お靜『恁んなの？
龍子『たゞ大人の眞似してるといふだけ。
お靜『そんな事が出來ますかしら。
龍子『夏虫のやうに火に向つて無暗と飛び込んで來る男が多いんですもの。靜ちやんにいゝ話してあげましようか。
お靜『えゝ。
龍子『私が田舎で一夏暮らした事があるのよ。その頃私の處へかなり夢中になつて來る男があつたの。世間馴れた冗談のうちにちよい／＼眞實を見せようとする男があるでしよう。その種類に屬する人なんだわ。或お祭の晩にね、カンテラの油煙やアセチリンの臭氣で蒸れるやうな人込を、その男の妹と三人で歩いたのよ。男はね眼

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を潤ませて居る程感傷的になつて居たのよ、私さういふ場合になると、自分が狂ふか先方が狂ふか、孰ちかでなければ納まらないやうな氣分になるの。

お靜『まあ隨分危ないのねえ。

龍子『何でもないわ、たゞその僅の間だけの氣分よ。

お靜『だつてお飯事のやうな嘘の戀に狂ふ氣が出ますかしら。

龍子『まあお聞きつてば。そんな氣持の眞最中にね、大混雜の人込を押しわけて仕事師のやうな男が蛇だ！蛇だ！つて馳けて來たの、はつとして見ると私達の前にうね〳〵した蛇を突出したのよ、私は平常から大嫌らひなんでしよう、だけど氣の苛ら〳〵してる時だから、その蛇を持つてる男を力任せに突飛したの。

お靜『おゝ厭だ。

龍子『その男はたゞ若い男や女を驚嚇して嬉しがつてる人だつたの、だから私に突飛ばされても笑つて行つちやつたの。

お靜『ちよいと、そのお對手さんは、

龍子『それがおもしろいのよ、二三間も先きへ逃げてるぢやないか。

お靜『へえ――成程ね。

龍子『隨分馬鹿つ正直な人でせう。

お靜『私はねえ刹那の戀に滿足の出來る人が好き、お互ひに違つた氣持の人同志なんだから、永い時間を使つて戀して行かうなんて迷惑だわ。その男なんぞは香水の原料に精酒を混せて、何時迄も匂はせて居やうつていふしみつたれなんだわ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お靜『だつて從姉さん、平常そんなに想はなくつても、さういふ時にだけ眞實を見せる狡猾い人があつてよ。

龍子『分らないわねえ。私は只その時だけでいゝのよ、瞬間の理解だけでいゝのよ、翌日から見知らぬ人同志のやうに忘れちやつてもいゝんだわ。

お靜『でもその男は間が惡かつたでしようねえ。あとでさ。

龍子『始めからその位の男だらうと見當は附けてたの、けれど倘つまらない男だつたわ、私に眞實があつたんだと思ひ違へて、それからつてもの夢中に成つちやつたの、愈々馬鹿らしくなつてさんざ翫弄してやつたわ。猫が鼠を喰べる前に弄ふやうな氣分でね。

お靜『罪だわねえ、從姉さんは。それで氣がすむんですか。

龍子『私だつていゝ氣持はしないわ、けど殘酷なのは私の缺點らしいの、然しその男は最う私のやうな女に惚れなく成るから却つて親切だわ。

お靜『それで眞實の戀が來ると思つていらつしやつて？

龍子『えゝ。きつと來るでしよう。もし來たら私は恁んなに立派な女に成つてしまふでしよう。私の姿のうちに缺けて居る謙遜の美しさが見えるでしようよ。

お靜『もし來なかつたら。

龍子『いゝえ。きつと、きつと。

お靜『從姉さん。私なんぞ最う貴下の仰るやうな高尙な事は考へられなくなつちまひました。もう誰も私を綺麗な氣持で見て呉れる人はありません、私だつて馬鹿らしくつて――。

龍子『ぢや何を待つて居るの？

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お靜『私はね身分らしい事を考へてますの、笑はないで下さい。あのねえ、或夫人を亡したお爺さんがあつてね、その方が私を可愛がつて、おまへの一生樂に食べられるだけのお金を殘してやるから、自分の世話を賴むといふ事があるだらうと思つてますの。

龍子『ぢや靜ちやんはお金をまつてるのねえ。

お靜『えゝ。どうせこんな身になつて了へば、大きな事考へるだけ馬鹿になりますもの。

龍子『さうねえ、――まつと靜ちやんの望みの方が早く來るわ、靜ちやんは悧巧ねえ、あなたは出來る望を持つんだから。

お靜『私も此三年の間に色々苦勞しましてね、何んでも手近な處に望みを置く事にきめましたわ。

龍子『でもねえ、靜ちやん。自分を捨る程馬鹿な事はなくつてよ、境遇に負けるのはつまらない事だわ、何かいゝ事があるだらうつて空だのみしてるよりは、自分の力で切り開らいてゆくんだわねえ。お妾さんならお妾さんでいゝから、もつとしつかりしたお妾さんになつて貰ひたいわ。お妾さんの型にはまつて了はずに、お妾さんにも斯した女があるかと男に思はせておやんなさい。

お靜『怎んな風にすればいゝんでしよう。

龍子『靜ちやん。それを聞くやうぢや駄目よ。

お靜『だつて男を負しても利益にはならないでしよう、女の方が半分まけて恰度うまく行くんだと思ひますわ。

龍子『さう言つて了へばそれつきりだわ。然しねえ、女は是非男に勝たうと言ふんぢやないわ、男に負け度と願つてるんだと思ふわ。戀と言へば靜ちやんは浮氣に考へてるけれど、戀といふ字を書き換へて尊敬といふのにするのよ、女は眞實に尊敬する事の出來る男を見たいと願つてるんだと思ふの。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お靜『相變らず從姉さんはむづかしいのねえ、それよりかお芝居の御話しましようよ。
龍子『お芝居? さうねえ――靜ちやん。あなたは私に賴みたい事があるんでしよう。
お靜『怎うしてそれを御存じ?
龍子『たゞさう思つたの。
お靜『左樣ですか。
龍子『あなたは先刻からそれが言ひたかつたんでしよう。
お靜『從姉さんのやうに仰つて了ふと、何だか困つて、怎うしていゝか――
龍子『でも切り出し惜いんでしよう。
お靜『えゝ。實はお恥かしい事ですが、父がね空米の方で引かれましたの。
龍子『そんな事は怎うでもいゝわ、あなたは旦那からお金を貰ふのが恐いんでしよう、また捨られると思ふんでしよう。いゝわ、私の指から孰れでもぬいていらつしやい。
お靜『まあとんでもない。
龍子『お金ぢやあげられないのよ、あなたが欲しいと思ふ丈の價値のありさうなのをね。
お靜『ほんとにすみませんわね。
龍子『他人らしい事言はないで、はやくおぬきつてば。
お靜『申譯がありません、ぢやお言葉に甘へまして。
龍子『それなら恰度いゝでしよう。あなたはお父さんを少しも恨まずに居られて?――靜ちやんね、もしかあなたが惚れ込んだ男と添ひたいから來る時があつたら、私主人と喧嘩して了つてもいゝ、きつと世帶を持たせ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てあげてよ、それ迄はあなたにお金あげないわ。

お靜『でもそんな事はとてもありますまいと思ひます。

龍子『さうねえ、無けりやあ、まあ一生お妾さんしていらつしやいよ。――靜ちやん。あなたもう直に歸りたくなつたんでしよう。

お靜『まさか、そんな現金な事はありませんわ。

龍子『私の處へ來た時だけは眞實の事を仰いよ。あなたは嘘に馴れちやつたの？

お靜『でも從姉さん愛憎をおつかしに成つてしまひますわ。

龍子『生地をみて居れば變る事ないわ。それを蔽さうとするからいけないの、もう塗る手間はおやめなさいよ。

お靜『それぢや御暇いたします、きつと母が喜びますでしよう、從姉さん貴女はやつぱり御冗談でなくあれを待つていらつしやるの。

お靜『戀ですか？　えゝ。待つて居ますとも。

龍子『ぢや御機嫌よう。

龍子『左樣なら――（龍子を見送りて後獨語す）靜ちやん。あなたの瞳の疲れて居ること、あなたはそれに氣がつかないのね、飢ゑた犬が骨をあさるやうな賤しい有樣を、私はあなたの瞳に見やうとは思はなかつた、の。あなたの唇は徒らに男に媚やうとする笑に許馴れて了つたのね。あなたが美しく生れた時受けて來た生命は、あなたの醜い姿から離れて迷つて居ます。私は靜ちやんの生命を再び美しい靜ちやんに返してあげたい。あなたは醜い世界の方が居心地がよく成つて了つたんでしよう、自分の姿を淺しいと思はなく成つて了つたんでしよう。けれどきつと私の處へ來る時がある、あなたは自分の生命を求めに來る時がある。靜ちやん？　私はそれまで預つて居るわね大切に預つてるわねえ――

（七日の月傾く。限りなき沈默と寂寞との内に涙含みしまゝ暫時佇立す、やがて輝きある瞳にて笑ふ。木の間洩ろ風が冷たくおくれ毛な吹く）。（終）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短歌

近藤なほ子

化粧して滿足なせる友なりき、我には讀書用多きかな、

○

旅さする子を思ふなる世の常の親は下女にはなき物と知る、

○

うたひえずもだえたりける其かみの景によく似し月夜なるかな、

○

おやさしき姫のピアノの音のもれぬ、師の君が家の門にぞ待てば、

○

事すべて都になれぬ一年を、へし古里の淋しきさまよ

藤井夕子

夜をこめて語る二人にすい／＼と夜のつめたき潮風ぞふく

○

美しきふたりの戀も秋風と、ともに消え行く悲しきかなや

○

別るゝも再びあふもすべてみな神の敎へとあきらめ給へ

○

あたゝかき春の風ふけ櫻さけ、又來る春にもえいでよ戀

○

かんなく此八月は悲しけれ別れたる人忘れがたくも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

深山の瀧

すみ子

鹽原名勝記に因ると雷霆、咆哮霹靂及雄飛瀑の三は
鹽原七名瀑の中に算へられ、何れも鹽の湯から一里餘
の山中にある。寫眞を見ると立派な瀧らしいので、行つ
て見度くて〳〵たまらず、夫を促し立てゝ十九日朝十
時腕車を二臺鹽の湯迄命ずる事にした。それは茲福渡
戸から鹽の湯迄は僅か廿町の平坦な道であるけれ共夫
れから先の山道に草臥れるのを恐れたからであつた。
數日前中禪寺へ徒歩で往復して、何の事もなかつた
のでいさゝか吾が足に自信を持つ様になつた私は一里
の山路位何の物かはといふ勢であつた。
鹽の湯道も中途から少し上りになつて來るので二人
の車夫はハア〳〵と息も苦し氣に、時々木陰に休んで
は汗を拭いてばかりゐるので乘つてゐる氣もしなかつ
た。
先日徒歩で來たとき休んだ事のある茶店へ車夫は梶
棒を下ろした。鹽の湯には茶屋は茲一軒よりない。瀧
のある處には茶屋は愚か人家一軒もない處なのださう
で茲で一寸休むで仕度する事にした。車夫の話に是か
ら瀑迄の路は中々の難所で若い男でも閉口する位であ
るから東京の婦人等はとても上れまい。加ふるに先日
の暴風雨で二ケ所ばかり山壞れがしたのでそこには殆
道がないから屹度そこから引返さねばならぬやうな事
になるだらう、と止めるばかりに云ふのであつた。こ
れを聞いていさゝか拍子拔がしたけれ共、折角茲迄來
て引返すのも殘念なので兎に角行ける處迄行つて見様
と云ふ事にして車夫の一人を案內に賴む事になつたっ
一と休みして後草履を買つて足に結び付け宿で造へて
貰つた握り飯と茲で求めたサイダ、まんじう等を車夫
に背負はせ「行つていらつしやい」の聲に送られて足
も輕々と出で立つたのは丁度十一時であつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

愈々急勾配の山路にかゝる。太陽がもう大分頭上に來て日蔭のない夏草の間を分けて行く。道は上りばかりなので息の苦しい事一通りでない。けれども自分から云ひ出した事故苦しいと云ふ事は出來ない。今度は少し下りになつた。息は樂だけれど足場が惡く、歩くにつれて石がゴロ〳〵落ちて來る。又上り坂になる。

もう大分來た積りでも未だ三丁程しか來てゐないと云ふ。その中に見渡す限り丈にある萱が生えてゐて恰も麥畑の樣に見える處へ來た。此山には家は一軒もなからうと思うてゐたのにホツタテ小屋の倒れた樣なものがある。萱を刈つて炭俵を造る處ださうである。茲から遙か左手を見下ろすと山の麓一寸小高い所に別莊がある。田口氏のものださうでよくもこんな邊僻な處へ建てたものかなと思ふ樣である。又此處から顧ると鹽の湯の玉屋の別莊丈が木の間に見える。どこからか鶯の聲がする。

それから又下つて川岸に出た。とう〳〵と流れる水を見ると蘇生つた樣な氣がする。茲等で休む樣では駄目だと川石をひよい〳〵踏み越えて向の山に達する。今迄は山とは云へ殆草山ばかりであつた。これから愈々樹木鬱蒼たる深山に入るのである。深山幽谷と話には聞いてゐたけれど實地に踏むのは今日が初めてゝある。年を經た樹木は幾重にも茂り合つて陰氣で濕つぽい。熊は住んでゐるさうだけれども幸に出會さなかつた。男ですら不案内では一人でとても通る事は出來まいと思はれた。昨年も私等の宿滿壽屋に泊つてゐた大學生が案内なしに一人で茲に分け入つた處道に踏み迷ひ一日中うろついた末遂に川のふちに喪心してねてゐたのを友達や宿の者達が心配して迎に來て見ると此始末なので背負つて連れ歸つたが夫から當分氣が變になつて人々に碌々禮も云はずに歸京したとの事である、之を聞いて最初案内もなしに來やうと思つた無謀を悔いたのであつた。

三人はそれから岩から岩を飛び越え木の根をよぢ登り又或る時は倒れかゝつた大木の下をくゞつたり恐ろしい樣な面白い樣な道を幾曲りもした。道は日が照ら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第十版

理學博士 遠藤久登著　日本藥學協會主幹 鴨田脩治閲

長身肥滿法

せいの低き人本書に因て療養する時は忽ち高くなるやせたる人病後産後其他生れ付きの人も忽ち肉付强健となる不思議の療法也。

郵券 二十五錢
送附あれ送本す

第三版

陸軍教授四野豐先生序　鴨田脩治著

どもり矯正法

洋綴總クロース
金字入美本
正價金四十錢
無送料

本書は彼の有名なる墺國醫學博士コオン氏のドモリ矯正法に則り著者が多年の研究に依り一二改良を加へ世に公にせものなれば本書に就て矯正せば如何なる强きドモリの方にても數十日の練習にて正音を發し得るのみならず尚ほ雄辯の人となり得る事が出來ます、かゝる良書なればドモリにて苦む人は勿論小學校の敎員方や保姆の職に在る方は是非一讀する義務があります。

第三版

醫學士高岡先生閲　鴨田脩治著

近視眼豫防及矯正法

眼球解剖圖入り
正價金四十錢
送料免す

今や文化の進歩と共に學生にして殆んど近視に侵されざる者あらず。近視を恐るゝは愚なり恐れざるも亦愚なり其理審かに本書にあり既に幾分にても其疾あるものは瞬時も早く本書に依て之を矯正し。幸ひに其患なきものは一日も早く本書を讀みて未然に防ぐことを怠る勿れ。

新刊

ドクトルオブ[illegible] 日本漢學協會主幹 鴨田脩治著

整形 隆鼻法

附（鼻病療法）

洋綴美本
定價四十錢
送料免す

鼻の低き人形の惡き人は勿論醫者も見よ本書の指示せる療法又は矯正せば容易に高くなり裏天や獅々鼻、團子鼻、煙突鼻の如きも正しき美形の鼻となる良書なり。

米國醫學博士曾根操女史序　小舟女史　鴨田坦子著

現代女子の職業と其活要

一名女子の職業案内

洋綴總クロース
美本
特價三十五錢
送料金六錢

現代女子は賢母良妻たるべきか、將た獨立自營すべきか本書は小學卒業後如何なる方面に將來の方針を採らんか、自己希望の職業に對する方法準備は果して如何に爲すべきか、獨立自營の女子の職業は如何にして獲らるべきものなりや、其方法、收入は果して如何之等現代女子の面前に橫はる緊急なる大問題に關して、之が詳細明確なる論評と其方法を指示し現代及將來處世の方向選擇上に於ける忠實なる顧問として現代の要求に應じて生れたるものなりと云ふ世の姉妹方は勿論女子を持てる父兄は是非一本を購ひ其の家庭の幸福を得られよ。

婦人畫報記者坂本易德先生序　與謝野晶子女史題詠　鴨田脩治著

最新 美顔と美髮

美顔美髮の寫眞入
美本
正價金四十錢
送料金四錢

美人ならざる人之を讀めば美人となり美人たる人之を讀めば愈々其美を發揮す本書は世界的文明的現代的として最も適切に最も穩健に眞正の美人となるべき要件を親切叮嚀に指導したるものにして一々實地に應用し得べき新法也時代に後れざらんとする人々は是非一本を備へざる可らず。

新刊

文學士鈴木觀月先生序　鴨田脩治著

惡癖矯正法

總クロース金文字入二百五十頁
正價金五十錢
送料金六錢

世には惡癖ある爲に向上發展を妨げられ一生を不遇に終る者多かるべし然らば惡癖は一クセ牛クセたりとも改めねばならぬ本書は惡癖のありとあらゆる者を捉へて一々之を原理に照し丁寧に其矯正を講明したるものなり現に惡癖に苦む人は勿論小兒及び他人の癖を矯正すべき必要ある人は是非一讀あれ。本書内容は酒、煙草、嘘つき、盗心、寢小便、放屁、座睡、朝寢坊等の諸癖より姦通やきもち燒の癖に至る目次總計百十餘件。

發行所

東京市本鄉區丸山福山町四番地

日本藥學協會

花柳病豫防液

ゼニール

專賣特許

○旅行家は必ず本劑の携帯を忘れ給ふな○

「ゼニール」は花柳病の感染を豫防する未曾有の特効を有し之を裝置する安全注入器は携帶至便小形堅牢なる特許品にして秘密使用に好適す。花柳病の滔々恐るべき害毒を知る諸士の忘る可らざるは是の「ゼニール」なり。本店は勿論何處の取次店も大に歡迎す決して恥づべきに非らず僅かの錢を惜みて恐る可き病に罹るべからず。説明書は申込あれば進呈す。

○御婦人は藥液ばかりでも間に合ひます○

定價		
特製（器械 藥液）	一組	二圓
甲種（器械 藥液）	一組	壹圓五十錢
乙種（器械 藥液）	一組	七拾五錢
藥液ゼニールのみ	一瓶	廿五錢
送料各入錢		

發賣元 精錡水本舗 岸田吟香

東京銀座貳丁目

振替東京四七八七番

電 京六一五番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市本所區番場町四番地

本所分工場

電話本所

二四四番・二四五番・二八〇四番

振替貯金口座東京一九〇〇五番

東京市下谷區二長町壹番地

凸版印刷株式會社

電話下谷(長)一七〇七番 下谷二〇二六番・四〇一九番

振替貯金口座東京一八二八九番

神戸市元町通貳丁目貳百八拾七番屋敷

關西代理店

電話(長)三三〇番・二三二番

振貯口座大阪一二四一番

仝出張所

大阪市道修町四丁目三番地

電話(長)本局七五番

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ホシ小兒專門藥

▲ホシ小兒專門藥は世界最進の學理と實驗とを參酌し小兒の體質を主として製劑された空前の理想的小兒藥である

▲小兒の死亡率は世界を通じて最も多い世の親たる者細心の警戒を要する速に本劑を常備して愛兒の健康を計られよ

全國各特約店にあり

定價美鑵入一箇金拾錢　六箇箱入金六拾錢

資本金百萬圓

星製藥株式會社

東京京橋區南傳馬町三丁目（電話京橋一七八五番　振替東京二〇五二二番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぬのと山清水の爲に落葉の朽ちたのが重なり合つてじめ〳〵してゐる。こんな道を行けども〳〵更に濕らしいものに出會はない。約廿町許りも來ると先刻案內者が云つた山崩れの處に來た。一間半ばかりの間岩石が崩壞して足場といふ足場もないので洋傘の先きで土砂をつゝいて僅に足場をこしらへ手は木の根と岩角とを力に辛うじて渡る事が出來たのである。

又少し行くと第二の難所があつた、これもどうやら切り拔けて又流れのある處に出た。もう瀑に近いといふので力を得て岩又岩を飛び越えて行く中に、嬉しや待ち焦れた咆哮、霹靂の二瀑は眼の前に現はれた。

瀑は圖で見るよりも美しい。殊に霹靂（雄瀑）は幅廣く水勢も強く、前に立つとしぶきで衣袂も拭れる位である。その形がナイアガラの瀑を思はせる。

丁度瀑の前方に大きな岩が二三ある。其最眺のよい處に腰を下ろして休む、時計を見ると正に十二時である。岩から下りて水晶より綺麗な流れの水をコップに受けて飲むと其の冷たさ、うまさ、たとへ樣がなかつた。暫らく茲を立ち去り兼ねたが此上の雷霆瀑へはまだ十五町ばかりもあるので小憩の後又山を登る。

雷霆は霹靂に似た瀑で最も高く大きい。前二瀑と同じく瀧壺がなく直ちに川に移行してゐる。

前方の岩に毛布を敷いて持て來た辨當を開く。案內者にも分けてやる。水に冷したサイダーを飲む、氷のやうに冷たかつたが、水の旨さには及ばなかつた。その空壜を夫は瀧の中邊の岩に投げつけると粉みぢんにくだけてあと方もなかつた。覺えず痛快をさけぶ。此山中に人と云つては恐らく私等三人であらう。唯號々といふ瀑の音と銀鈴を振る樣な深山蟬のこゑ。姿は見えぬけれど時々可愛らしい啼聲のするのは山からだそうである。第三の雄飛瀑へ行くには又七町程危險な道を通らねばならなかつた。此邊の岩は大方苔が生えて眞靑になつてゐる。身の丈程の齒朶や、大人の手掌程の楓、花の少さくて白い紫陽花等が多い、五間ばかりの急流を横切るのにそこにはとび越える丈の岩もなく橋もない。唯川の中央に岩があつて兩岸から大木の幹

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が渡してあるのみであつた。案内者は馴れてゐる丈にいち早く中央の岩迄たどり着いたが夫は續いて渡らうとして丸太が曲つてゐる爲に重心を失つて危く眞逆樣に落ちかけた。一同膽を冷やして仕方なしに水の中に降りて案内者と二人で橋を造り、私は案内者に橋を手で支へ夫には川の中から助けて貰つて渡る事が出來た身の輕いのが結局こう云ふ時には、幸であつた。

愈々雄飛瀑のある處へ來た。茲は數丈の屹立した屏風岩にかこまれた薄暗い實に物凄い處である。其岩は所謂材木岩で悉く方形の柱狀をなしてゐる。又一方には丁度夫れを横斷した樣な岩があつて共に奇景をなしてゐる。

瀑はその奥の方相對峙した岩と岩との間にはさまれて垂直に劇しい勢を以て落ちてゐる。最瀑らしい瀑である。瀑の前瀑壺があつてその深さは測り知られぬ淵をなしてゐる。鬼氣迫るとはこんな處の心持を云ふのであらう。

これから愈々歸途に向ふ事になつた。途中一町ばかり寄道して仁三郎瀧をのぞいて再び元來た道へ引き返した。今度は下りが多いので左迄苦痛ではなかつたけれ共よくもこゝを通つて來られたものだと思はれたのであつた。

遂に鹽の湯の彼の茶屋へ着いた時は三時であつた。先程から待てゐた一人の車夫も茶屋の亭主も思の外早かつたのに驚いた樣であつた、屹度途中から引返してお出でなさるだらうと噂してゐたのに等と話した。

案内者も東京の女にしては健脚な私に感服した樣な口吻であつた。自分も意外に疲勞を感じないのが不思議だつた。私は是によつて山路の困難を初めて知つた又容易に見られぬ高山の風景、植物、動物等を實驗する事を得た。是をまはらぬ筆に記して東京の婦人方に示し閑暇もあらば是非一度此處に遊ばれん事を勸めたいと思つた。

「中禪寺の舟遊び」は頁の都合で次號へ廻はしました

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海邊の一日

平澤福

この日はめづらしく曇つてゐたので、雨を氣づかひながら午前六時に家を出た。両國ステーションへ七時發、五分前に着いたので、私と妹とはかけ足でやうやくこの汽車に搭づる事ができた。車中には中尉の服を着けた軍人二人と外に紳士が三人、この中の一人代議士らしい方が時局問題に就て盛んに軍人の方と話されてゐた。時間と汽車はいつのまにか用捨なく進んで「まくわり」と呼ぶステーションについた。話好きの私はほんたうに面白く聞ゐてゐたので日頃心配して居つた、田や、畑を見ることをわすれて仕舞つた。急に思ひ出して車窓からのぞけば稲や、豆は頗る上出來らしい、今の所では安心。かうして都會生活をしてゐても、農村生れの私は、田や、畑がいたく案じられてならない。いつしか千葉ステーションに着す、此處で下車して千葉町を見物して海岸に出た。限りもない水に接近した時私は非常に快感を覺えた。さてこれから稲毛海水浴場まであゆむことになつたので、裾をまくり上げ、私の大根のような太い足を遠慮なく出したが、そばの友に笑はれて顔を染めた。渚つたひに歩んでゐる間思ふ存分聲を上げて唱歌を歌ふたり、この間藝術座で演じた復活の劇評をしたりした。彼のネフリユドフ、カチユーシヤのような形こそちがへ同じ意味に泣く人はこの廣き世に幾人あるでありませう、(私の胸から云ひ知れぬ情緒が繰出される)、私を知らぬ友は(どうかなさいましたか)と問はれる、身にあまるつらさを偲び私は友が興を醒さしては氣毒とおもつて、イ、エとばかり答へはそらに……あたまの中は○○○○の充實するばつかり、……十一時に目的地に着いた。海氣館樓上に先づ腰をおろした私達一行はあまり歩行したので、流れる汗をふきながら暑い〳〵の連發、間もなく例のお茶が運ばれつゞいて中食を濟ませる。それより波の花さく磯邊、跣足に熱砂を踏んだり、水に浸つたり、小舟に乘つて沖の方に進ませてイカリをおろし、天性のお轉婆を發揮して海に入つて私と妹は餘念なくアサリをひろつて悦んでゐた。この友は眞面目腐つた厳格な方なんで兎角消極的にて、輪廓打破の騒ぎもできなかつた。やがて宿に歸つて夕空の眺めもがなと欄に凭りて西の方を望めば遙かに都の空と思しきあたり、コバルト色の夕空には彩色されたちぎつたような雲、ひそかに海の光もうすれて神祕の色に云ひ知られぬ思ひを宿しぬ……思ふ人とかうして顔さすらいの身となりて、白き浜の花、とぶ鴎の聲を伴侶として意義ある生活を續けたい。かうした考へに耽けつてゐると艶ぽい年増の女中が(モー五時ですから)

この聲に氣がついて、急に身の仕度に取りかかり、出されたお茶もそこそこに、五時三十分車中の人となつた、生々とした稲を渡つた涼風は車窓から吹き込んで暑さを拂ふてくれる、車中快哉を叫びつつ東京に着いた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

病餘隨感

玉露女

〇婦人病

特別にお馴染である爲と割合に深切であるのを知つて居る爲めとで私の病とは專門が違つて居るのを承知で某婦人科病院へ入ひつたのでした、而して日々他の婦人病患者と一所に診察所へ行く時いつも其若い婦人病者の多いのに驚きました。或時々には二三の麗いお友達にも逢ひました、活潑で美しく愉快相に見えた其方方は何となく心配氣に悲し氣に姿も淋しくなつて見えました、何れも品性高い淑女でありながら脊の君の好意の賜が思はずこんな事になつたのでせう。

「結婚時に健康の證明が必要」と云ふ文子樣のお說は實に同感でした。

積極的に社會狀態の改良　自己品性の向上を圖るべきは勿論ですが、せめては消極的に病害を防ぐ工夫をするやう世の靑年達にお賴みしたい、心の駒の若さ血に誘はれてあらぬ方に走つた時、ふと迷ひ入つた濁り江の中にひそむ孑孑が衣の裾に止まらぬやうに豫かじめ工夫する必要がある、又若も孑孑が止つてしまつたなら直ぐに洗ひ落さなければならぬ（心も體も淸くなれよ）と洗はねばならぬ。然すれば後に若い可憐な妻を人中へ出して、恥かしい思、不經濟、不滿足な感等を自からも起し妻にも起させずにすむし、家庭は面白く自分は十分の活動が出來るでせうと……

〇交友

『お見舞したいが僕の樣な者が貴女を訪問すると云ふのが一寸どうも』……と遠慮なさつた若人達よ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私はそれ程信用の無い女では有りません。

乞食の子供に湯浴させて見たり。雌雄も分らず拾つて來た犬の子が女なので、雌犬は一疋居るから澤山ですと、母に斷られたのを戸棚の中へ秘して置て自分のお辨當を食べさせ、空のお辨當を持つて學校へ行つたり。

「本當に此人は何するか分らないねエ!!」

と呆れられた事は幾度も有りますけれども、私の理性私の人格、私の情緒は長い歳月を通じて幼な馴染の夫も小さいから育てゝ下さつた母上もよく了解して居ります。

私の所へ遊びにお出下さる男の方は貴君方ばかりでは有りません、其方々と立派な御交際が出來ない程私は意久地無では有りません、其御交際を危がる程私の家の人達は分らず屋では有りません。

何卒御氣の向た時は御遊びに入らしつて下さい御心配は要りません……。

序に申上ます若い學生の君よ交際ひにくいと仰有るなら「奥さん」、などと私を呼ばずに「小母さん」とお呼びなさい、五つ年上の私を小母さんと呼ぶのが殘念だと思召て御勉強なさるも面白いでせう。小母さんと呼ばれる資格に迫られて私も勉強しませう。而してお互に智徳を磨いて向上しませう。

○女ごころ

期節に合せて裝ふ資力の無い人が何故眞夏の炎日に白麻の洋傘をさゝうと憧憬るのでせう。眞白の傘は乘物迄行く短い間、翳すのでも暑いのに、而して袷衣にはふさはしく無く殊に秋の日淋しい色にはあまりに寒い姿では無いか……。

梅雨の曇、肌寒い時、秋風の單衣にあわたゞしい時にこそ單羽織の用もあれ、眞夏の日中に何で絽の一重なりと暑さを増す事があらう。

溫泉の夕。欄干に倚る伊達卷の君が颯と吹く涼風にまとつた縮緬の肩の姿を美しと見たとて。太い腰は太いなりに、短い體は短いなりになまじ羽織の何で姿を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

整へやう……

私はすべて必要以外に體に色々の物をつけるのは嫌だ、神代杉につゝれの錦二百七十圓の駒下駄を香取屋で製らせた○夫人もある世の中を、いつそ虚榮を廢する虚榮心を起して見ちやどうです單羽織の女よバラソルの女よオペラバックの君よ絹手袋の君よ、女は美しく裝ひ給へ、しかも水際立つて裝ひ給へ!!!、首筋にまつはる蟬の羽根の如きショールを取つて汗ばんだ衿足をすくきりと拭ひ給へ!!!、而して貴婦人は貴婦人美を藝者は藝者美を富者は富者美を貧者は貧者美を各々天分に隨て似合つた樣に發揮し給へ、何で田植歌を止めて英語を使ふに及びませう。

病院の窓から外を眺めて居るとかう云つて怒鳴りたくなりました。

○意志の不通

「默つて考へて居る事が一番好きな人ですから」と私を説明した母の言葉を看護婦さんは解さないのか、又は考へさせては毒だと思つてか、私を慰める目的を以て頻りと色々の話をする切角此機を利用して考へ度と思つた事が空しくなつて時日は徒らに過ぎて行く、私はいらいらする心を堪へて其好意的邪魔に對答して居らねばならぬ。退屈になやむ人と退屈を知らぬ人とを一樣に取扱はぬだけの智識も看護婦には入用だと思つた。

私は都新聞の續き物の話や活動寫眞の話を微笑んで聞きながら、嘗て或紳士義太夫に招かれて聽きながら其見臺の上の本の一枚一枚と語り手に依つてくられて終りの近づくのを待つた時と同樣の氣分になやまされた、而して心の中で晶子樣の歌を思ひ出した。

うるさしや小鳥の話飽ずする
まろふど早く鳥となれかし。

○夫婦問答

「今日諸方へ全快祝を送りました、これで私の病氣も一段落付きました、此後は失はれたものを精出して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

取返せば宜しいんです」。
「物質的に失はれた損害も偉大だつたが先づ第一に體量を取返すさ。」
「人は一生無病とは限りませんもの病は生きて居る間の税だと思へばたまにはいゝでせう、刺戟になつて……。」
「ちつと刺戟が强過ぎたよ、腰辨に千圓は可成り答へる。」
「十二年間連れ添つて始めての病氣ですもの、何私が死で新らしい奥樣迎へても其位費りますよ、それよりお互にどんなに都合がいゝか知れません癒つたのですから。」
「やくざ者が殘つただけ惡い位だ。」
「まあ冗談も餘まり苛い。」
「アハヽヽ其方が餘まり蟲がいゝからさ。」
「貴君も其間に道樂でも遊ばせばよかつた。」
「實は大いにやつた、而して少し費ひ過ぎた！今非常に困つてるんだ。」
「ぢや、いつそ借金を遊ばせよ、お父樣の株を幽閉して。」
「心配するなそんな事はとうにしてある。」
「オヤ〳〵それぢや私達も世間並になりましたね、どの位お費ひになつて？。」
「僕の分は三千圓。」
「あゝ何だかつまらない氣がする。」
「君も普通の女だな三千や五千の借金で悲觀したのか。」
「いゝえ其事ぢや無い、女は命懸けの病氣して僅た千圓しか費はないのに、男は其間遊んで三千圓ぢや少し割が惡いと思つて……。」
「こりや驚いた、アハヽヽヽ。」
「オホヽヽヽ。」
「何いゝや君はそれだけ取返す割で僕も精出して取返さう!!!」
「有り難う私も取返しませう!!!。」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子教育家の告白

某女子教育家

美術界にも、文學界にも政治界にも宗教界にも、又實業界にも代表的人物がある。而して第一流第二流とおのづと相場が定まつて居る、昔も今もいつの時代にも。私は子供の時、まだ何が自己の長所だと云ふ事も認め得ない幼い時から、何でもい丶、其の代表的人物萬人から羨望さる丶地位を得なくては、お腹の蟲がおさまらぬ樣に思つて居た。平和だの、幸福だの、愉快だのが何んだ。自己のあらゆる凡てを犧牲にしても、いかめしく高い、凡人には容易にかち得られない位に昇らなくては、蛆蟲も同然である、ならば一層一思に死んで了つた方がよいと只管思つて居た。それは恐らく五つ六つのまだ物心つかぬ頃から、私を支配した思想であつた。寺小屋へ通ひ初めた時分から、既に友達と云ふ友達は押しのけ、つきこかしても、その理想の爲めに努力した。其の方便にはさま〴〵の嘘も云つた師匠にも褒められ可愛がられた。親々も悧口だ發明だと喜んだ。私はうれしさに友達の樂しさうに遊び歩くお盆にもお祭の中の日にさへやう遊ばなかつた。ソレで無邪氣な眞におもしろい子供時代と云ふもの丶味を私は少しも知らずに過ごした。

或夏に神社が新築されて御選宮の式の行はるる賑やかな、市中には餅まき花火の盛にある晩であつた。皆新らしい浴衣に着かへて行つた、私も母にすゝめられたが行かなかつた。十三の私は一人留守して一生懸命『年の中に春は來にけり一年を去年とや云はん今年とや云はん』と古今集の暗唱に費した。人知れぬ努力の結果で得た、記憶可なり骨の折れたものを。自然の强記家で丶もある樣に、餘裕と誇りとを、師匠の問に應

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

じて見せて居たのを、今も覺えてゐる。さうした三つ子の魂が私を成功さして遂に歌で知られ詩で認められ、書を讃美さるゝに至つた。やんごとなき邊りへさへ召かゝへらるゝ迄になつた。

理想通り才媛としての第一流となつた。中年になつて第一流の高女の舍監、學監に命せられた。今は其の校長となり、見事第一流の女子敎育家になつた。

かくして私はトン／＼拍子に昇進したのです。今は私を羨望して居る女子敎育家の卵も少くはなからうと思ふ。私の幼い時の樣に、私は外見さも幸福に見える。學校を自由にする事も出來る、それがやがて全國の各女學校を支配する事にもなる。一國の城主の樣でもある。德望も名譽もある。經濟も可成り自由にする丈けの餘裕はある。私の權力！、それは人から見ては可なり大きなものであらう。私自身は馴れて見れば高位高官も大した喜びを感じさせて呉れない。多くの人々の敬意もさのみうれしいものではない。若しもお伽噺にある樣に一夜の中に黃金の城があらはれて、そこの城主になつたのなら、夢の樣に飛び上るかも知ないが、可成り長い年月にそれからそれへと運ばれて來たのだからさのみ驚かない、のみならず私としてはそれにはあまりに高價な犧牲を拂つて居る。つまり藝人や見世物の樣に喝采されて祭り上られた人身御供に過ぎない。三十ばかりの時から無邪氣な本能の叫びが堂々たる私の後影から袖引き、チラ／＼顏出して注意して呉れなかつたわけではなかつた、けれどもまだ野心と功名心にもえて居た當時の私は、それ等を叱りつけ嘲りしりぞけながら、流石に鬼でない私の本心は不憫なものよかくて眞の生きたる人生も知らないで老い朽ちて行くかと、人知れず勞はり共に泣き共にかこちながら、一步は一步と暗黑に落ちて行つた。かた／＼年とともに淋しい叫びも遂には枯れ果てゝ聖賢の道におのづと叶ふ樣にもなるかと云ふ希望を持つて居た、然しそれは全然空賴みであつた、年とともに本能の不滿足はひしひしと身に迫つて强い痙攣をさへ訴へる、私が今中老の身、而かも第一流の女子敎育家として、私の眞の要求を叫んだら、屹度世間は氣違！精神錯亂！老耄！と有ゆる嘲笑の矢を向けるであらう。けれども若し僞らずに告白すれば私の所謂崇高なる今日の日常生活、高尙なる敎育事業よりも、より多くの敎訓、生命ある影

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

響を社會に及ぼすであらう。私は私の樣に一生を誤る後進を救ふ、救ひ主ともならう。それほどの大なる眞理をなせ私は發表する事が出來ぬのか。嗚呼!!!それは私の死であるからである。私の周圍！私より年寄り私より舊い僞善的思想のものばかりが、私の同情者！私の補佐者！、私の唯一の力であるからである。それ等を私一人の力で左右する事が出來やうか、到底駄目！、私はそれ等、味方の人々から殺されて了はねばならぬ。私は悲痛のあまり最も近い同情者！、最も私に深切なる人々を、大なる敵と、呪はずには居られない私の長い〳〵間の辛い苦しい實驗から來た尊い生きたものを！若い人達に敎へられた、皮相なものか、それ等の人々にこびる爲めの僞善的言論!!!恐らくそれほどの理解もなからう。鳥でも獸でもない、蝙蝠、鵺それは私の今の身の上ではなからうか。嗚呼同じ滅亡ならば不名譽な滅亡よりは名譽ある死の方が勝つて居やう今更死を決してまで生を希ふ活力さへ見出せない。全國の女學校を支配する私も自己を活かす力さへない。淺い廣い凡ての自由を與へられて、いと狹く深い自己の魂丈けを虜にせられて居る。人は人間としては出來ないあぶない事を他人に望むものだ、卑近な輕業でも、足藝でも手品でも、高尚な劇でも、美術でも、音樂でも、だからそれ等で立たうとするには、それが本能にならなくてはならぬのだ、私はまだ〳〵至らない、本心の叫び、本能の要求が、敎育家の資格に叶つたものでなくてはならぬのだ。裏面に謀叛心のある事丈けでも、私の價値をどれ丈け下げる事だらう。二十年三十年來心と心との葛藤をつゞけて來た私はもはや臍を固めねばならぬ。かくして既に死んだ、私の肉はまだピク〳〵ふるふ。今一度赤ん坊に生れて來たいと切望する。それ程解つた私が、若い花の樣な小娘に細かい木綿の小紋の上ッぱりを着せ、飾り氣のない束髮に、紅白粉もつけさせないで、のび〳〵したおもしろい思もさせないで、つゝましやかに〳〵と出來る丈けいぢけさして陰氣らしい生長を強ひて居る。毎日罪の深い事を繰り返して居る。他日さぞ怨まるる事であらう。そして人も我も一日も忽にならぬ女子敎育、良妻賢母を養成して居ると許してゐるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

コの字に答ふ

蛙聲會と雨の關係如何！誰かある來り答へよと古川端にコの字蛙のたんばほうづきの音に似たる大音聲、蓮の葉の旗じるし目に見ぬ遠き我れもたにしの貝を音にきゝて、面に水かけられしが如くしやあ／＼然たるも人惡く、流石に思ふ事なきにしもあらぬにいはぬは藪蔭のおひき殿の如く腹ふくるゝわざなればとてプレケ、、

我等まだ手足なく水中に小さきしやもじの形したる黒ぼちのいにしへより雨とは密接の關係を有す、されば青蛙（字名を枝蛙亦雨蛙と稱す）は綠葉裏に波の來たるを豫言し、おひき殿樣の下の寓穴を出でてウエルカムの姿勢を保ちつゝ悠々然と逍歩するも亦彼來るの日也、世人は我等の名の上にあらゆる恥を負はす、曰くのんこのしやあの蛙面、曰く蛙の子は蛙にしかならぬ、なほ此類は數多あるべし、偶京のトバス蛙の大阪見物の失敗をみて我等種族の愚を笑ひ、井戸の蛙と見聞のせまきをあざける、蓮の葉に留りし水を釋迦の涙かとありがたがりし人の迷信はいはずかへつて私のしいなりとざつくばらんに申出でし我等をなんのかのと云ふ何ぞ笑れてヒョコ／＼然とのみしてゐるべけんや遠き唐土の例は知らず、日の本にては日本外史の三番叟、平親王將門の娘のひいきになり天笠德兵衛にも重寶がられて神秘の堂の奥にも參じ、又無意識に飛び込みし古池の水音にすら俳味をきかせ禪味をしらせてあゝでもごわせん連中を美事感嘆させしにあらずや又新らしき方にては、喜んで學生の解剖臺上の犧牲となり理科學上貢獻する處多きも我等の誇なり、偶不幸にして惡太郎の手にかゝり腊なめさせらるゝといへども汚れたる腸はすべて吐き出し淸流に洗ひ再び納むる態度の如きはまことに三閭の太夫といへどもなほ三舍を避くべし、人もし雨の池に、岸の青柳、蛇の目の傘を思ひ出さば必ずや直衣姿の一男子、イみて何物をか熟視する圖を心に描くべし、是まことに我等が不撓の努力の象徵畫にあらずして何ぞや、かくて雨はとこしへに我等が親しき友となりたり、豈たゞにペパミントによつて降る雨の謂ならむやいさゝかこゝに所感を記して以つて答へとなす。（きむ）

旅順より

謹啓御暑さ俄かに烈しく相成候折柄御一統樣愈々御機嫌克く御暮し遊され候條奉賀上候降而小關旅順支部一同天恩人助の下に何んの不安も無く樂しく開拓にいそしみ申居候間乍憚御安心被下度願上候、春植ゑ込みました梨、桃、ブダウ、リンゴ、櫻桃、其他諸種の果樹日増しに發育も良く一寸は一寸の成績を上げつつ進み申居候。

今より四五年先きには一本の木に對して貳圓以上の收穫は得らるゝとの當地の同業者の話に御座候。

本年の果樹總じて二千五百本栽培いたし三四年先きには一萬以上の果樹を栽培する考へであります、目下貸下地所は十五町歩程あり尙貳拾町步餘の良き土地貸下方出願中に有之、一坪一厘の割合にて貸下許可され居候。

關東州のみならず滿洲一帶農業熱盛んになり前途有望に有之福島都督も產業には最も熱心なる奬勵者に御座候。

果樹の次に桑を多く作りました、蠶業は誠に滿洲に於て有望の一事業と見なされ着々好果を顯はし居候小園も將來副事業として最も重きを置て蠶業に力をいたす準備中に御座候。

元來私共は自活の道を立てるのが大目的主眼なれば是れに向つて邁進するのであります、果樹や蠶業は氣永の仕事で直ぐ本年から自活の用にすることは出來ませぬ故本年は高粱、モロコシ、粟、ザヤが芋、サツマ芋等直ちに日常の食糧になるものを多くつくりました、昨年耕作せ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し參は三週間前に漸く苅入れ今日は食べて居ります。

本年二段歩餘試驗しました水田は誠に經過よく發育すこぶる良好に御座候。

私思ひますのに百姓は最も多く眞の人でなければダメだと思ひます一粒の種子にも一本の苗木にもその人の深切如何に依つては一方ならぬ差を見出します。

最大の肥料は人の眞であると存じます多くの人糞を施してもそこに深切が無ければ却つて禍となりますたとひ肥料は不足でも世話人か良き羊飼は羊の爲めに命を献げて惜まざるの意氣ありとせば只だ一度の鋤を入れる方却つて著しき成績を見るのであります、缺くべからざるは眞なるかなと今更の如く深く感じました、眞は萬物の營養の本源か。私は一ケ月の中半分は、荒涼たる原野にたゝずみて目に觸るゝもの耳にさはるもの足にふるゝもの一として戰爭の悲慘を語らざるもなく、炎熱燃るが如き今日此頃もコツ／＼と石を掘り出しては畑を開らき居り申候會々人骨の如きもの足下より掘り出づる事有之是れ戰爭當時そのまゝ埋葬して置いたものださうです。又彈丸の破片や其他の紀念物も發掘致し申候。昨年七月七日に勇士の遺骨を一纏めにして埋葬しました。

そこに心ばかりの記しをして保戩塔と命名しました。

餘の半分は旅順の町や大連方面に美はしき同情者を求めんが爲めた人様の腹の中をサグリ／＼コツ／＼叩くもツライものであります。

是れも一つは修養と思へば何んでも無い樣の話ですが世の厄介者視せられ乞食の徒と誤解され、若かき血、悲憤の涙を幾度流すか知れませぬ、からだがブル／＼フルヘル事もありますただ漸く希望に勵まされて事無く多くの弟等の爲めに兄として足らず乍らも日に務を果たして居ります本月號の新眞婦人誌上に小關支部の寫眞かゝげ下され御紹介の勞を御執り下され候御厚意の程有難く御禮申上候。

先生來年は私共が心血をそゝいで栽培して居る葡萄をたくさん御送りします、先は近況旁御禮迄早々如此に御座候

甲寅七月十六日

旅順の荒野から　廣田　兵吉拜

第十六號を讀みて

時下酷暑の砌御變り無之候や。雜誌漸々進歩發展の模樣何よりと賀し上候。急進に非ずして漸進なればと末たのもしく存じ候。

小生忙しきまゝ御無沙汰にのみ打過ぎ申譯之なく種々申上度き事などもあり筆とり上ぐる事屢々に候へども何分立たぬふで故遂に未だに……本月號日向女史の『Mさんの夫』を拜讀せるに中々さすがは女史とうなづかるゝ節多く之あり候。かゝる夫の多きは實際と存候もしかし之も漸時に減じ行く傾向と思ひ居り候。未婚既婚を問はず男女を適當の制限の下に自由に交際せしむる時には出齒龜的紳士は漸時減少し盲從的婚嫁の如きも減退すべしとは小生の持論に候。靑年子女は互に異性を理解する事實に不充分にして時に未婚の女子などは男子に對し鑑識力非常に欠乏せるが如く見受けられ候。之は又若き婦人の誘惑に陷り易き一原因とも相なる事と存じ候。次に『婦人論八ツ當り』を拜見仕候ところ某法學士の所論を駁する事切實。小生はその所論を讀みしに非ざれば、その可否を申上ぐるは不能に候へども『婚姻の目的は生殖にあり』との如きは小生等の絶對に採らざる所に候。されどかゝる觀念の人は甚だ多く而も表面には立派な理窟をこねる人に尙更多きは當今と存じ候。しか！評者が之を以て帝大を概括的に『人格だとか人道だとか云ふ事などは一向敎へもせず注意もしない所と見えまして婦人の問題などになつては其理想や所說は驚く可き程低く且つ古く到底お話にならぬ感が致します事が度々ありま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す」。とは例の批評家のやる獨斷と存じ候。手前味噌には候はれど理想の高い者も可成之あり候唯それらの人は口に出して云はず云ふ樣なる人は比較的理想のひくき人多き爲めかゝる誤解をうくる事と存じ候。くだらぬ事をかきいらぬ事申候もあつさの爲めかと存じ候。末筆ながら皆樣によろしく（帝大野村樣より）

編輯餘錄

高野重三先生より　廿世紀御惠贈奉謝候『男女關係の根本原理』面白一讀之れはワードとテリー兩氏合著の社會學教科書を譯したるものに有之、譯文もよく出來居る樣に存候、只純正社會學にある樣に詳密のものでない丈にワードが女性中心說を唱ふるに至りし道行順序が明らかに無之是非原本を譯するの必要と價値有之候樣に存居り申候、何分暑さ强き爲め閉口來月號より始め候哉十月號に相成候哉未定に候、早わかり評判如何小生手元に參り候評判丈は宜敷候。（先生は其の後鹽原へ御避暑になりし爲め、御不在中の用事澁滯、且つ暑氣烈しき爲め本月は御紹介もして頂けませんでしたが十月號からは又大に御願ひいたす筈です）

今月はあまり暑いので會員の方の中でも岩崎さん井上さん尾崎さん日向さんなどゝ御病氣におなりになつた方が多う御座いました。私も病氣にこそなりませんが隨分弱りました、自分としても出來る丈け努力いたしましたけれどいろいろと家庭向のさし障りが多かつたものですから、今月は縮少しておきまして、十月號を特別號として奮發したいと思ひます、皆樣も多くかいて下さる事を希望いたします。

改名御披露

都合上生家山田の性を名のる事に成りました、御斷はり申あげます

舊名三野村　山田　きよ

新刊紹介

▲**義太夫新論**（副島八十六氏著）副島君は探險家として世間に知られて居る人である、私も君がこれ丈けの義太夫通であらうとは此の書を一讀するまで知らなんだ。卷頭の竹本攝津大椽の書翰及び鷗外、逍遙、露伴等七大家の評論は、本文と相待つて、藝術としての義太夫の價値を知らしむるに充分である。義太夫に趣味を感ずる人々及び文學に志ある人々の、是非一讀せねばならぬ書である（定價九十錢送料八錢、東京神田神保町東京堂）

▲**廿世紀**（初號）石原醫學士の『女工』は、毎年農村から出る二十萬の女工中、八萬は病氣（其多數は肺結核）で故鄕に歸り、他の十二萬は生れ故鄕に歸らないで他の鄕土へ行き、淫賣婦となつて居る、と云ふ事を詳論したものである。男女關係の根本原理はワードの說を譯したもの志賀重昻氏の『旅行案内書類の革命』は、科學的に書いた旅行案內書類のない事を慨したもので、共に有益な文章である、此の雜誌は、世間に有り觸れた談話筆記を元にして編輯した雜誌とは、頗ぶる選を異にして居る。健全なる發達を祈る（二十五錢、京橋區丗間堀三の十八、廿世紀社）

讀賣新聞主催に係る藝術座の劇トルストイ伯の「復活」及びシュミットボンの「ヂオゲネスの誘惑」は來る九月十九日より二十三日まで五日間東京座に於て上演すべしと、なほ同紙月極讀者は特別割引三十錢にて入場し得べしと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人

(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人

(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人

(4) 結婚の事

等の御相談に應じます

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後六時過ぎに御出で下さい。

投書募集

▲和歌、俳句、感想文などの投書を歡迎します。

▲毎號新刊小説を讀みての感、劇を見ての感などの投書を歡迎します。

本誌擴張に就て

本誌擴張の爲め毎月御寄附下さる贊助金は擴張の爲め本誌を見本として方々へ御送りする費用に當てゝ居ります、なほ御一人でも多く讀んで欲しいのですから、五部でも十部でも擴張費を御出し下さつて、直接又は本社から御友人知己未知の方を問はず御發送下さる事を切に御願致します。

八月中贊助金領收

金貳圓也　毎月二十部づつ　日向きむ子様

金貳圓也　毎月二十部づつ　山田きよ子様

金拾壹圓五拾錢　毎月百部　高野重三様

金壹圓也　毎月十部　吉岡彌生様

金壹圓也　毎月十部づつ　井出茂代様

金壹圓也　毎月十部づつ　山下まつ子様

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）	
一冊（郵税共）	拾壹錢
半年分（郵税共前金）	六拾錢
一年分（郵税共前金）	壹圓拾錢

御注意　●注文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正三年八月廿八日印刷納本
大正三年九月一日發行

本鄕區駒込林町二〇六番地
發行兼編輯人及印刷人　西川文子

本所區香揚町四番地
印刷所　凸版印刷株式會社分工場

東京市本鄕區駒込林町二百六番地
新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京（二四五五六）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

季節向き化粧品陳列

御婚禮御化粧法

右御化粧法の義は當館々主多年の經驗により御素顔の美を損ぜぬやう又お召物との配合光りの接觸等入念なる注意と熟練せる技術とによりて御用命に應じ申すべく陸續御申込み相なりたく伏して希望いたし候

尙ほ季節向き御化粧品種々取り揃へ御注文に相叶ひ候やう陳列致しあり候外個人的にして一つの美術とも申すべき化粧法に關し當館多年の經驗により御相談の御相手たるべき事を確信致し居り候

東京市京橋區
竹川町一二
理容館
電話新橋一五一九
振替口座東京一四一〇〇

御化粧法の御相談相手

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東洋大學長　大内青巒先生著

青巒禪話

四六判箱入
定價一圓廿錢
郵税八錢

この人にしてこの著ありといへば既に澤山なりそれ以上廣告文でコケを威す必要いづこにかあるしかも試みに一二言を加ふれば平談以て微妙の法門を説破し俗話以て別傳の眞諦を闡明す題を設くる六十有餘悉くこれ天地の秘奥を探り人心の機微の觸る迷悟凡聖の如きただ讀者の擇ぶところに委するのみ

大内青巒先生著

禪の極致

第六版
價六十錢
郵税八錢

鈴木大拙先生著

禪の第一義

第五版
價一圓
郵税八錢

發行所　東京小石川原町六番地　振替東京一五六八六番　丙午出版社

女子文壇

露西亞の女學生の生活……瀬沼夏葉
涙……原田琴子
末摘花……日向きむ
近代名作集……小金井君子
工用明……三ヶ島葭子
命なき我……江森望子
この二三日……水野仙子
はちきあふ心……嵯峨秋子

階上の書齋より……水野葉舟
うす曇りの日曜……南幸吉
夏御山秘曲……荒川敏雄
良心……中村白羊
俳句に表はれた秋の自然……黒田忠次郎
理解の發達と意志の確立……長谷川天溪

十卷九月號
正價金十五錢税二錢

東京丸ノ内
婦人文藝社
本局三二九

外出がちの私の顔がこんなに美しいのは此の化粧水？成美液よ！兄さんもお父さんも内々の愛用家なのよ

▲成美液を用ふる男女は何時も顔が艶麗で日にやけることもなく白美を保つは外用劑として完全なる化學的白色新劑なり先一瓶を試せ

僕のにきび顔が斯く迄に綺麗になつたは矢張成美液の御蔭です、

成—美—液

定價小瓶十二錢◎中瓶廿五錢◎大五十錢◎持大壹圓◎送貨四錢

◎月やくの

止つた時程婦人の一大事はありません若し妊娠であれば猶身體に異狀が起る爲食物にまで變りがあります又不順でも閉止でも藥療を怠れば子宮病其他種々の病を誘發す故に月經あるべき時期に無くて逆上頭痛其他身體に障り起つた時は一日も早く專門博士の證明された奇藥流經散と云ふ信用ある藥を用ひなさい。

此藥なら胃腸を害す副作用もなく安全に流下し子宮も健全になる事ほんとに不しぎの樣です藥代は一週金三十錢二週分六十錢四ヶ月以上閉止の方は必ず特製金壹圓送料二錢で送り升（切手一割增）

▼毛はいぐすり

本劑は多年經驗の化學的作用の毛はい藥にして毛の薄き人。腫物の跡。はひぎわの惡しき人是を付れば毛をはやし艶をよくす藥價小瓶卅錢中瓶五十錢大瓶一圓特製貳圓送料貳錢

子宮サック

甲種一個壹圓◎乙種七十五錢丙種六十錢送二錢

ゴム製にして婦人衛生上必要の良器之を用ひれば淋毒梅毒の傳染を防ぎ月經時には經水の漏洩を防ぎ立居を便ならしむ委細は本品に添ある能書

▼諸粹藥案内切手貳錢郵送進呈す▲

東京市神田區五軒町 **寶順堂**

振替東京四六七一番

腦病精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

●らい病患者と血統者に急告す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遲れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二一 福田秋水

東京市京橋區南鍋町壹丁目四番地

ラヂウム專門療院

電話新橋參〇壹六番

院長 ドクトル從五位 渡邊鼎

わきが 新法發明

本院新研究の療則は全く他藥と異なる●之を數千名に實驗するに效力的確全快の禮狀感謝狀續々來れり●同情の餘り紹介し且新式わきが根本療法書無代呈す東京本所中ノ郷元町三一（電話本所三三四二）東京新療院藥品部宛ハガキにて申込まれよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

安蘇病院長 秋山金也先生
産科婦人科花柳病專門 吉岡三次郎先生 合著

第十版

生殖器の研究 と疾病療法

實物寫眞六十個入紙數三百七十餘頁定價金一圓二十錢●密封小包十二錢

本書は最近の醫學及生理學よりも嚴密に生殖器の構造機能、妊娠、避妊、老衰、發育不全、障害、花柳病豫防、花柳病療法其他男女生殖器に關するあらゆる諸問題を最も通俗平易に興味深く詳說したる者れば子孫なき家庭に勿論花柳病になやむ男女及結婚せんとする男女其他萬人の必讀すべき良書也。

總ふりがな附

發兌 東京神田區神保町二番裏地 島田書店

振替口座東京一七〇九一番

腦神經精神病

東京赤坂 帝國腦病院改 青山腦病院

院長ドクトルメヂチーネ 齋藤紀一

醫學士 三名

田澤醫學士

特長

電芝二七四五
電芝二六六五
電芝三四〇六

皮膚病一切 たむし〱の妙藥

タムシン

東京市京橋區入舟町四丁目
本舖 橋本進世堂

侃々諤々將さに火を發せんとする九月號

大正之日本

毎月一回一日發行　定價十五錢　一ヶ年分前金一圓八十錢　六ヶ月分同九十錢

今や歐洲の天地は震天動地の大戰場と化して戰線已に三百哩の廣袤に亙り將に龍攘虎搏の一大壯觀を演ぜんとしつゝある此秋に方りて我日本は夙に其終局を達觀して今後に於ける我帝國の地位を如何にせむかを討究すべきは焦眉の一大急務である、本誌は茲に見る所ありて朝野諸名士の高見を叩き雄論卓説活躍として卷中にあり

國防問題號!! 諸大家の

添田博士　大木伯爵　山本大佐　黑須龍太郎
植原博士　牧野義智　柏谷義三　大谷誠夫
戸水博士　内田良平　高野金重　鈴木梅四郎
犬養毅　川島濟次郎　早川鐵冶　田鍋安之助
長瀬鳳輔　安井正太郎　盛田曉　平澤均治
辻村楠造　西本國之助　武藤金吉　島田俊雄
肝付兼行　遠藤良吉　小山完吾　澤來太郎
石藤中佐　片桐酉次郎　三輪信次郎　淺羽靖
草生少將　太田三次郎　中村弼　相島勘次郎

其他數百名（其他左に）

大隈の腰拔奴　某伯爵
日米戰爭夢物語　旭東生
長閥陸軍の代表的人物　孤山生
大戰亂と貧民窟　歐月
ガルバリジー傳　小KI生
歐洲大亂の直接原因及過經　參謀本部員ドクトル長瀬鳳輔

名論卓説縱横の議論は宛然たる大戰場たり

申込所　東京市四谷區坂町八十番地　大日本青年黨本部
電話番町五四〇一番・振替東京二五九〇二

戰雲漠々　好評七版

帝國音樂協會編

歐米國歌集

（日、英、獨、佛、露、伊、墺、米、等の國歌を原歌にて集め更に日英譯を附す）

奈翁以來の大戰始まる、獨墺捷つか英佛露の三國同盟勝つか、今猝に知る能はざるも、吾人豫め渠等の國歌により其國民性を稽へ其運命をトする又一興なり更に勝敗の結果血湧き肉躍るの時、又高吟するの要あらん。

定價拾五錢
送料貳錢

メーソン先生閲・帝國音樂協會編

オルガン速成

一ヶ月で修業し得る樣周到なる編纂をなし、殊に本譜及略譜にて東西古今の最新國歌、行進曲、長唄、端唄等六十餘間を網羅したる好著なり、故に初學者には必須缺くべからざる好伴侶なり。

定價參拾五錢
送料六錢

東京銀座四丁目　**松本樂器合資會社**　振替口座一三五〇五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA